大正九年十二月十四日
第三種郵便物認可

新京日日新聞
夕刊
三月三十日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓　郵税一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三一二五　營業局專用(3)三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

植田新任大使の國書捧呈式終る

式後初の御陪食仰付けられ　新大使光榮に感激

榮えある

植田新全權大使の國書捧呈式は三十日午前十時宮廷府勤民樓東便殿において擧行された、この日植田大使は新大使迎接のため畏き邊りより御差廻しの

禮車 で迎引禮官と共に午前九時三十分守屋參事官、大鷹、山本、林出、結城各書記官、大島武官、園田少佐らを帶同して官邸を出發、朝日通りを經て瀏喨たる喇叭の音に迎へられ興運門より宮廷府勤民樓に至り皇帝陛下の出御をお待ち申上げれば、皇帝陛下には張掌禮處長、煕宮內府大臣の御先行張侍從武官長、工藤侍衛官長らを扈從せられ午前九時五十分式場たる東便殿に出御あらせられた、それより植田大使は張掌禮處長の誘導で皇帝陛下の御前に參進、上書を朗讀して國書を捧呈すれば、皇帝陛下には御答辭を述べられた後親しく大使と御握手を交へ天皇陛下　皇后陛下　皇太后陛下　皇太子殿下の天機御機嫌を問はれこれに對して植田大使は奉答の後

隨行 の大使館員を皇帝陛下に御紹介申上げ續いて承光門前で御記念撮影の後再び皇帝陛下と御握手をなし午前十時廿分宮廷府發禮車で退下、茲に榮えある國書捧呈式を終つた

植田軍司令官は三十日午前十一時三十分宮廷府に伺候勤民樓で關東軍司令官として皇帝陛下に面謁、親しく會談したが續いて正午軍司令官兼全權大使として陪食をした

植田全權大使　張外相に新任挨拶

駐滿全權大使植田大將は廿九日午後四時半守屋大使館參事官、渡邊副官等を帶同、外交部を訪問し大臣公館廣間に於て張外交部大臣を始め列席する大橋次長、神吉政務司長、筒井宣化兼通商司長、其他各科長等に對し駐滿全權大使新任の挨拶を述べ同四十分官邸に歸還した

有田大使を中心に在滿機關重要會議

中央への反響注目さる

有田大使を中心とする關東軍大使館の重要會合は前日に引續き二十九日午后四時より午后六時半迄軍司令部に於て開催された、出席者は軍側板垣參謀長、坂西第一課長、永津第三課長、田中中佐、綾部中佐、花谷中佐、山岡少佐、大使館側大鷹、山本兩書記官等で、主として關東軍側各主任參謀より

一、滿洲國の現狀並にその將來
二、對支問題
三、對ソ問題
四、對外蒙問題

に就て現狀を詳細説明、之に對する關東軍としての方針を明確に表明、有田大使は大體現地の意見を聽取するといふ立場から具體的意見の表示は差控へた模樣である、然し乍ら外務大臣に擬せられて居る大使の新京訪問は劃期的の事實で滿洲を中心とする對外問題が日本の外交にとつて如何に重大性を持つて居るかを表示したものとして關東軍の今次の意思表示が中央に於て如何なる程度に表現されるや今後の成行は注目される

今朝出發歸國

二日間に亙る關東軍、大使館との重要會談を了つた有田大使は三十日午前七時新京驛發「ひかり」で歸國の途についたが板垣參謀長、守屋大使館參事官以下各書記官、中野總領事代理、張總理、外交部關係者等多數驛まで見送に出た

◇…宮內府における記念撮影

西尾參謀次長晴々しく凱旋

日滿官民多數の見送りを受け

參謀次長に榮轉の西尾中將は林少佐を帶同、三十日午後二時發あじあで板垣參謀長を始め各幕僚、守屋參事官、大使館各書記官、濱田海軍部司令官、大島同參謀長、滿洲國側張國務總理、各部大臣、長岡總務廳長ら日滿官民多數の歡送裡に凱旋の途についた、同中將は朝鮮經由で來る四月三日東京着、直ちに宮中に伺候し　天皇陛下に拜謁仰せつけられ凱旋報告を言上する筈である

海軍制度調査會の調査方針大要

四月早々調査開始

【東京國通】海軍では廣田內閣の國政一新に呼應して制度調査會を設置し部內の全面的改革に乘出したが同調査會では既に改革に關する基礎資料の蒐集方針を決定愈々四月早々調査を開始する事となり特別議會後漸次實行し得る樣準備を進める事になつた

同調査會は政策、機構及び豫算の三分科會に別れ逐次資料蒐集に着手してゐるが右分科會の調査方針は大體左の如くである

△國防の充實確立を期す　即ち帝國政府としては無條約時代に入つても敢て建艦競爭のトップを切るが如き事は絶對に避け英米の建艦補充計畫の實行振りを注視し之に對處し國防の充實强化をなし海上權の確保を期さねばならぬ、而して右國防の充實强化と不可分の北守南進政策其の他の遂行に關する具體策を樹立する

△機構委員會　現行部內機構はワシントンロンドン兩條約に基き制限縮小を加へられてゐる、從つて之を繼續する事は三七年以後に於て到底內外の情勢に對處し得ざる處があるのでこの際部內各機構の合理化を爲し能率增進をなさんとするもので部局課の綜合整理が眼目となつてゐる

△豫算委員會　第二次補充計畫は昭和十二年度を以て完了するが英國では既に主力艦二隻を中心とする新建艦計畫を樹立し米國も亦ヴインソン建艦案を目下實施中であるから帝國海軍としても當然新補充計畫を確立せねばならぬ形勢にあるので海軍豫算は明十二年度以後に於てその膨脹は必至と見ねばならぬ、此の膨脹する海軍經費と一般財政との調整策を確立するものである

鈴木政友總裁勅選に返咲きか

遠藤柳作氏も勅選候補

【東京國通】政府は來る五月一日を以て召集される特別議會開會前に缺員中の勅選七名を補充する方針であるが、その候補として最も有力視されてゐるのは前書記官長白根竹介氏、前法制局長官大橋八郎氏、內閣調査局長官吉田茂氏、前滿洲國國務院總務廳長遠藤柳作氏の諸氏で、この外過般の總選擧で不幸落選したる鈴木政友會總裁を多年憲政に盡した功績に報ゆるため勅選にすべしとの議が政府部內に起つて居り島田、前田兩閣僚からも熱心に推薦してゐる模樣である

長嶺子國境ソ聯軍ますく挑戰的

現地交涉の解決方法なし

【京城國通】長嶺子事件に關し朝鮮軍では飽くまで現地交涉による既定方針に基き善處して居るがソ聯側では頑として應諾する色なく盛んに兵力を增加し挑戰的態度を示しつゝあり、目下のところ解決の模樣ない、二十九日午後までに當地に達した情報に依ればソ聯極東國境守備總司令官は滿洲國軍並に日本軍をして一步たりともソ領に侵入させまじと同地區の守備隊に對し嚴重に警戒すべき旨を嚴命し、專ら國境線の武裝强化に努めつゝあり、又スパスカヤ飛行聯隊戰鬪機並に毒瓦斯撒布機數機は既に煙秋に集結して待機中であるその外極東作戰部員も煙秋に到着し工兵は部落民を脅迫して道路橋梁の修理を行つて居る

南大將大連着

愈よ明日離滿凱旋

【大連國通】凱旋の前關東軍司令官南大將は廿九日午後七時十五分大連着の「はと」に特別連結せる專用車にて關東軍菅野中佐、園田武官補佐官名波少佐、關東局三浦秘書官及び見送りの滿洲國政府代表大津總務廳次長、滿洲國軍代表第一軍管區司令官于深澂將軍並に東條警務部長、青木高等課長、関部奉天〇〇隊司令官等を從へ着連、竹下州廳長官、要港部、要塞兩司令官、松岡大村滿鐵正副總裁以下各理事丸茂市長等ホームを埋めた出迎への旅大官民に挨拶をなしつゝ宿舍星ヶ浦星乃家に入り同夜星乃家に於ける松岡總裁主催の意義深い送別宴に出席、滿洲最後の今明夜を興味深い星乃家で過すこととなつた卅日は午前中旅順を訪問、離滿の挨拶を述べ同夜旅大官民主催の送別宴に出席、卅一日午前十時大連出帆のはるびん丸にて離滿凱旋の途に就くことになつた

自分の心中は全く光風霽月

南大將大連着語る

【大連國通】廿九日着連せる前關東軍司令官南大將は感慨深い面持ちで左の如く惜別の辭を述べた

在任中は色々御世話になつた、支那の言葉に「一見舊の如し」と謂つてゐるがその親しみは年月の長短ではない、在任一年三ヶ月は短いものであつたが、日滿人に對する親しみの情は忘れ難いものがある、着任以來私心無く滿洲の爲に努力せんことを心懸け在滿人に對しては何時も骨肉の情を以て接して來たが、この度の別れは名殘り惜しいものがある、滿洲の居心地が良くなかつたとか、在滿人で私の滿洲にあることを必要としなくなつたものでなく、過般惹起した東京事件に關し軍の長老として此際軍司令官の職を退き內地に歸るものとなつたもので、心中は全く光風霽月である、在任中に體驗したことは生涯を通じて貴重な教訓となつてゐるが、今や大陸に確固たる礎石を置く日本と東亞平和の基礎として發展しつゝある滿洲、此の兩者の提携は即ち大陸政策の第一步に牢固たる礎石を爲したもので、今日滿人の考慮すべき事は大陸政策の遂行を第一としこれに協力することである、滿洲國の接壤國として存在する內外蒙古、ソ聯邦、北支等とは常に圓滿な友交關係を保つことが肝要でこれが調整は今後の日滿人に課せられた義務である、自分は着任以來人の和を以て事に臨まねばならぬことを繰返して來たが、お別れに臨んで人和第一主義を永く實踐さざん事を望んで已まない次第である

奉天特務機關長事務引繼

【奉天國通】三浦奉天特務機關長は土肥原中將と大連に於て事務引繼ぎを終へ廿九日午後一時五十二分新京へ向つた

今村副長今夜着任

新任關東軍參謀副長今村少將は三十日午後九時着列車で着任する

人事往來

▲有田大使　卅日午前內地へ
▲西尾中將（參謀長）卅日同
▲下永中佐（軍政部顧問）同
奉天より
▲新開少佐　同ハルピンへ
▲林少佐（前新聞班長）同午後內地へ
▲野崎一二氏（陸軍大尉）三十日午前大連へ
▲春川啓司氏（大連警察署）同大連へ
▲小野鸚和氏（興安南省公署）二十九日午後四平街へ
▲渡邊浩氏（關東海務局長）同大連へ
▲川村臣三郎氏（淺野物產）同
▲岩永大亮氏（哈市中學教諭）同
▲山本平三郎氏（會社員）同
來京名古屋ホテル
▲三浦敏事氏（陸軍少將）同
▲伊佐一男氏（同大佐）同
▲吉川勝氏（大林組）同
▲佐藤正俊氏（哈市公署總務處長）同
▲上田久太郎氏（陸軍少佐）同
▲吉田松太郎氏（陸軍大尉）同
▲今村三郎氏（三菱社員）同
▲鶴見憲文氏（陸軍大尉）同
▲高藤正夫氏（會社員）同
▲近藤一男氏（同）同
▲伊東正喜氏（陸軍中將）同
▲山田卓爾氏（陸軍少佐）同
▲大政正和氏（木材商）同ハルピンへ
▲後藤廣三氏（航空會社常務）同奉天へ
▲佐藤熊雄氏（木材商）同吉林へ
▲池田宗二氏（會社員）同奉天へ
▲垂井浩平氏（航空會社）同
▲增谷憲信氏（不二洋行）同
▲今城説次氏（滿洲特產中央會）同來京國都ホテル
▲栗山茂二氏（高等法院推事）同
▲江原耿氏（三田組）同
▲堀井覺太郎氏（商業）同
▲關本武夫氏（山海關特務機關員）同牡丹江へ
▲大間眞次氏（陸軍中佐）同四平街へ
▲管澤亥重氏（同少佐）同奉天へ
▲寺師義信氏（同少將）同ハルピンへ
▲北野政次氏（同中佐）同
▲古井三子雄氏（會社員）同奉天へ
▲安部孝一氏（陸軍中佐）同內地へ
▲石田廣氏（官吏）同來京ヤマトホテル
▲佐分利健氏（三菱商事）同
▲石光憲氏（會社員）同
▲田中正一氏（滿洲國官吏）同
▲池田金八氏（官吏）同市內へ
▲竹下豐次氏（關東州長官）同大連へ
▲板倉保氏（官吏）同
▲石村長七氏（奉天鐵事所長）同奉天へ
▲喜多喜三郎氏（東亞勸業）同
▲內田藤吉氏（滿鐵）同大連へ
▲草間茂登氏（觀測所長）同
▲磯部鵬三氏（首都警察廳）同市內へ
▲近藤孝一氏（有田大使秘書）三十日午前內地へ
▲野田清一郎氏（工大校長）同旅順へ
▲馬場大佐（附屬地憲兵隊長）同鐵嶺より
▲横山中佐　同大連へ
▲山口少將（新京警備司令官）同ハルピンへ
▲本多三男氏（航空兵少佐）廿九日午後東京へ
▲加藤肇氏（砲兵大尉）卅日午前東京へ
▲池田顯亮氏（砲兵少佐）卅日午後東京へ
▲品川好信氏（步兵大尉）同
▲伊藤説氏（陸軍騎兵中佐）同
來京都ホテル
▲中嶋忠三郎氏（新京新任司法領事）同

その日く

□植田大使の國書捧呈終る、日滿親善の無窮なるを今更に認識

□ソ聯態度を改めることなく寧ろ戰備を急ぐ、抗議の時代は過ぎたやう

□鈴木政友會總裁勅選に返り咲き、急がずばぬれざらましを……

□外出中に家の外と內から盜む、春とは申せ御用心あつて然るべし

□醜業婦の命令入院者の治療代を免除してほしいとの申出で蟲のよい申出ではない由

乳房ある悲み

（四十三）

文化住宅（一）

中西伊之助 作

泉武久 畫

『まだこゝにないんです』

『それぢや今から網をかけたつてだめよ、お魚屋が持つてくるんですか?』

『高山さんが買つて來るんです』

『では、いつのことだか知れやしないわ、その間に何かほかのものを揃へたらどう?』

『えゝ、でもまだ材料が何もないんです』

『ほ、ほ、ほ、呑氣なお料理番ね、ではお湯でもかけておきなさいな、お客さまつて、どこの人?』

『高山さんの高等學校時代の同窓の人ださうです』

『お一人?』

『えゝ、三人ほどださうです』

『まあ、大へんね、それぢや骨が折れるわ、お兄さん、早くかへつて來ればいゝのにね……』

『今日あたり、あなたが來てくれたら買物に行つて貰ふんだに、さいつてゐらつしやいましたよ』

『今日は出られないと思つてゐたの』

『それにね、二三日したら、研究所の方も休暇になるから千葉の海岸に家をかりて行くんですつて。あなたも行かれるさいゝんだがつて、いつてゐらつしやいました』

一宮は七輪に大きい紫色の藥罐をかけて、汗拭きながらいつた。

『いゝわねえ、私も行きたいけれどね……』

『高山さん遲いなあ、僕、迎ひに行つて來ます、酒屋へも行かなくちやならないんだから』

『でも、もう歸つて來るでせう』

『え、しかし買物が多くて閉口してゐられるんでせう』

一宮はさういひながら、裏口の方から通り筋の方へ出て行つた。

玉汝は臺所から座敷の方へあがつた。數日前、この借家を見つけて喬と一宮が移つたのである。

近頃郊外にめつきり殖えた文化住宅で、部屋は八疊二間と四疊半に、應接間のある玄關がついてゐた。八疊は洋式さ和式さ一間づつであつた。喬の書齋は洋式で、一宮は庭に向つた和式の四疊半と定めた。

和式の八疊は、食堂であり談話室であり、時には喬が師範になる柔道の道場でもあつた。玉汝がその部屋にはいつてみるさ、朝の新聞や雜誌が處狹く散らばつてあり、食卓の上には茶碗が煙草の灰皿代りに投げ出され、灰が風に煽られて一めんに雪の如くこび散り、部屋の片隅には寢間着らしいものが、幾枚もぼろの如くつくねてあつた。

『まあ、しやうがないわねえ……』

さ、つぶやきながら玉汝はそれを片づけはじめた。

裏口の方に、喬の元氣のいゝ話聲が聽こえた。そしてバタバタさ一宮さ二人で裏口からはいつて來る足音がした。

『たあちやん來たのかい、それあいゝ、さころへ來てくれた……』

さ、喬は大聲でいつて、そこへ一宮さ一緒に買物を投げ出した。

玉汝は、箒を持ちながら部屋から出て來た。

『今日は日曜だのに、タイラントゐないのかい?』

玉汝の姿を見て、喬がきいた。

『昨晩京都へ立つたの』

『たあちやん、お前、どこか惡くはないのかね』

喬は不安な顏をしてきいた。

『いゝえ、……』

玉汝は重い口調で答へた。

『さうかい、でも何だかいつもより顏色が惡いぜ、光線のせいでもないやうだ』

さ、彼は青葉の照つた裏口の方さ彼女の顏さを對照してみた。

三千の社員集合 滿鐵魂を昂揚
明後一日は滿鐵記念日 新京聯合會の催し

四月一日滿鐵創立並に社員會結成記念日に滿鐵社員會新京聯合會では十四分會三千社員が午前十時新京神社境內に集合國旗社旗の掲揚式、殉職社員の慰靈祭、社員會綱領、宣言文の朗讀等を行ひ大いに滿鐵魂を昂揚しついで四列縱隊に隊伍を整へ市中を行進忠靈塔に到り參拜後社會員の萬歲を三唱して解散する筈である

米國ガム島に海軍根據地構築か
日本の軍縮會議脫退の反動

【ワシントン廿八日發國通】帝國政府のワシントン、ロンドン兩條約廢棄案、海軍々縮會議脫退により米國朝野ではワシントン條約第十九條に關聯し太平洋防備制限撤去の是非が頻りに論議されてゐるが米國海軍首腦部でも本年末海軍條約期限滿了を期して至急ガム島に根據地を構築、太平洋ジブラルタルを實現すべく目下鋭意考究中と解される、米國海軍企畫部ではガム島の海軍根據地としての經濟的技術的能力に關し調査報告書を作成中であるが之が完了すれば米國政府は將來太平洋政策に重大轉換期を招來するものと觀られる

胸間に誇らしき 馬車夫 人力車夫の善行章
首都乘用馬車人力車組合の善行者表彰

首都乘用馬車人力車營業組合の善行組合員表彰式は廿八日午前十一時から豐樂路中央飯店樓上に於て監督官廳たる首都警察廳保安科長代理以下市內各署係官、來賓として韓特別市長、領事館警察署代表者協和會社會科長、得丸地方委員副議長、新聞社關係列席の上郡組合會長の開會の辭、武藤主事の組合の概況並に遺失物屆出及表彰事項の取扱に關し數字的說明報告の後康德二年一月より同三年三月二十七日迄の屆出者六百十二件中現金及時價十圓以上の物品を屆出たる七十三名の內出席者に對し郡組合長より表彰狀並に同徽章酒肴料（金一封）と共に授與す、終つて保安科長代理の訓示、韓市長並に得丸副議長の懇誠なる祝辭に次で表彰者の記念撮影午後一時三十分懇談會に移り同二時盛會裡に全員滿を辭して散會した、表彰徽章授與者は直ちに之れを胸間に下げ彼等は恰も軍人の金鵄勳章を拜授したるやうに喜々として歸宅した尚今回の催に感激した三十餘名の役員も今後組合の發展と組合員指導訓練に當るものと誓つた、因に武藤主事は組合創立滿三年半の間に斯の如く發展した組合は、全滿何れの都市にも未だ嘗つて見ざる成績を納め得たるは監督官廳は素より日滿官民各位の御指導御援助の賜である事を心から感謝し尚五千餘名の組合員の信賴があり在任を許されるなら今後共自分の全身全靈を組合員と組合の爲めに努力し大衆的交通機關の使用達成せらる事を誓はれた

二人組強盜

二十九日午前一時三十分ごろ東二道街分廟內事務所へ棍棒を所持した二人組の強盜が押入り家人を毆打し「騷ぐと殺す」と脅迫し國幣百三十二圓衣類四點を強奪逃走した、屆出に接し四道街署で犯人搜査中である

盜んで徘徊中 朝鮮人ボーイ捕はる

錦町三丁目四番地錦醫院ボーイ原籍釜山府草梁町、入船町四丁目十番地居住文德鉉（二〇）は二十九日午前九時から正午までの間主人夫妻が外出不在を奇貨に押入れ中にあつた洋服三着時價百二十圓、オーバー二着時價百餘圓、モーニング一着時價百五十圓、懷中時計四個トランク二個、貯金通帳預金額百餘圓その他九百餘圓の物品を大風呂敷に悠々取込んで行方を晦ましてゐたが同日午後三時ごろ市內三笠町四丁目十五番地先を徘徊中新京署谷本刑事が逮捕したなほ犯人文德鉉はさる二十五日から同家に傭はれたばかりであつた

外出中盜まる

蓬萊町一丁目十九番地諏訪積方では二十九日午後五時から家人全部外出し午後十一時半すぎ歸宅してみると裏口の錠を破つて泥棒が家には入り家寶の金製寶船、寶槌、銀補 日本刀一振その他貴金屬衣類を盜まれてゐるのを發見屆け出でた

電々株主總會

電々會社では昨日午前九時から大同廣場の同社第二會議室に於て第三回株主總會を開催各種議事を審議頗る順調に議了したが十年度業績は目覺ましい進展を示して居る。その決算概況を示せば

營業收入 一五、八二〇、七二〇圓三三錢
利息收入 二七、三三五・五八錢
雜收入 四四、八二・五八錢

にして總益金合計一六四、九三〇圓二八錢であり之に對する支出は

營業支出 [illegible]
利息支出 [illegible]
雜支出 [illegible]

資產償却費一、六七〇、九三四・〇三錢にして總損金一〇三、一〇四五〇〇圓四〇錢、差引三三九〇、四二九圓八八錢の益金を擧げて居る、尚監查役西山左內范培忠、八木聞一氏は任期滿了に付改選の結果白錫祥、片山義勝、中川增藏氏當選した

光岡慈昭師 御沙汰書等を賜はる
滿洲事變の行賞で

錦町二丁目西本願寺住職光岡慈昭師は滿洲事變以來關東軍囑託として錦州赤峰第一線に在つて皇軍戰歿勇士の弔祭慰問をなしその功績認められ今回の民間論功行賞で御沙汰書並びに從軍記章、御紋章入り銀盃一個を賜つた、現在も師は關東軍、關東局の囑託を命ぜられており、僧侶でこの恩典に浴したものは全滿で師一人であらう（寫眞は光岡師）

公衆電話內で ボーイ縊死

二十九日午後十一時二十分ごろ西五馬路大馬路十字街公衆電話ボックス內に滿人が縊死してゐるを通行人が發見し長通路署に屆出で檢證の結果西五馬路高山五金洋行方ボーイ唐金水（二八）と判明した、死體は檢證の末家人に引渡した

國恩感謝の 國旗掲揚式

新京教化聯盟主催國恩感謝國旗掲揚式は四月一日午前六時半から新京神社境內で擧行されるが當日は大內櫻木校長の講話あるはず、多數市民の參加を希望すると

兩事變未審查論功行賞 四月上旬發表

【東京國通】滿洲事變及び上海事變に關する陸海軍將兵を始め文官、貴衆兩院議員、滿鐵その他約三十萬に對する論功行賞は既に發表濟みとなつたが、殘餘の

一、市長村長以下公吏
一、滿洲派遣部隊の殘部
一、陸軍部外者

も本月中に發表する豫定のところ、審查が幾分遲延し、四月上旬發表することになつた

輕機關銃を有する匪團を巧みに逮捕
南關署に凱歌あがる

輕機關銃を所持し懷德、農安兩縣に亙つて猛威を振つてゐた匪首占北林一味が農安縣伏龍泉に潛伏してゐるを突止めた南關署では池上警長以下七名が去る二十六日同地を襲ひ副頭目合國こと佐海山及李樹林の二人を檢擧し一味が使用せるモーゼル拳銃一號二挺、實彈十五發を押取した、取調べの結果一味が輕機關銃その他拳銃を懷德縣泰家甫農業林長淸方に隱匿してあるを自白したので同署では引續き小橋警佐以下署員十名が襲ひ輕機關銃一挺、實彈二百八十五發三八式步兵銃一挺、ソ聯式長銃二挺その他附屬品を押取し凱歌をあげた

江口科長から 金一封を贈る

右匪賊逮捕に殊勳のあつた南關署へ江口司法科長は金一封を賞與し激勵した

命令患者の治療代を全免して欲しい
料理店組合長から滿鐵へ

新京附屬地內大新京料理店組合並にダイヤ街三業組合抱へ藝酌婦のうち梅毒、淋病軟性下疳等所謂命令患者の數は一ヶ年延人員一萬三千五百九十六名、この治療代六千六百八十八圓八十錢といふ巨額に上りうち梅毒患者に對してはサルバルサン注射を免除されてゐるが其他の命令患者に對する費用は全部組合の支出となつており最近の傾向を見るに梅毒患者の數は次第に減少してゐるが淋病患者の數は著しく增加してゐる、之では組合の費用が嵩むのみならず一般保健衞生上から考へても寒心に堪へざるものがあるので梅毒以外の命令患者に對する治療費も全免されたいと大新京料理店組合長補野權一、三業組合長吉村元七郎兩氏連署にて卅日滿鐵總裁宛嘆願書を提出した、地方事務所では書類を受理し調查の結果當然のこととし本社へ送致したが本社でも多分承認するものと見られてゐる

養豚獎勵規則

三月二十日養豚の改良增殖のため制定された實業部令養豚獎勵規則は左の通りである

第一條　實業部大臣は豚の改良增殖を圖る爲本則に依り每年度豫算の範圍內に於て獎勵金を交付す

第二條　獎勵金は特別市、縣市又は實業部大臣の適當と認むる團體の左に揭ぐる費用又は補助金に對し之を交付す

一、改良用種豚の購入に要する費用
二、改良用種豚の購入に對する補助金

第三條　獎勵金の額は前條第一號の場合に在りては購入價格及輸送費の二分の一以內とし第二號の場合に在りては其の補助金の範圍內とす但し購入價格及輸送費の二分の一を超ゆることを得ず

第四條　獎勵金の交付を受けんとする者は申請書に左に揭ぐる書類を添附し每年一月三十一日迄に實業部大臣に之を提出すべし但し特別の事由ありと認むるときは期間經過後と雖も之を受理することあるべし

一、事業計畫書
二、收支豫算書

前項の書類の外實業部大臣は必要と認むる書類の提出を命ずることあるべし

第五條　獎勵金交付の指令を受けたる者獎勵金の交付を請求せんとするときは購入及輸送完了後請求書に精算書を添附し實業部大臣に之を提出すべし

第六條　獎勵金の交付を受けたる者は其の交付を受けたる日より三年間實業部大臣の認可を受くるに非ざれば獎勵金の交付を受けて購入し又は購入せしめたる種豚を讓渡し若は讓渡せしめ又は其の用途を變更し若は變更せしむることを得ず

第七條　獎勵金の交付を受けたる者は其の交付を受けたる日より三年間每年獎勵金別受けて購入し又はせしめたる種豚に付別に獎勵種豚に關する報告書類其の年度終了後遲滯なく實業部大臣に提出すべし

第八條　本則に依り實業部大臣に提出すべき書類は特別市の區域內に在る團體に在りては特別市長、縣若は市に在りては省長、縣若は市の區域內に在る團體に在りては縣長若は市長及省長を經由すべし

第九條　獎勵金交付の指令を受けたる者又は獎勵金の交付を受けたる者左の各號の一に該當する場合に於ては實業部大臣は獎勵金交付の指令を取消し又は既に交付したる獎勵金の全部若は一部の還付を命ずることあるべし

一、本則の規定に違反したるとき
二、獎勵金交付の條件に違反したるとき
三、事業施行の方法不適當と認めたるとき

附則

本令は公布の日より之を施行す

第四條中一月三十一日迄とあるは康德三年度に限り三月三十一日迄とす

十一年度石油販賣割當數量

【東京國通】商工省は十一年度石油販賣割當數量に關して過般來十年度實績に基いて調查を進めて居たが左の如く決定を見たので右のうち四月より六月までの四半期分を內外石油各社に通告した、而して六ヶ月の貯油義務を履行せざる外國二社に對しては割當を削減せんとする意向が省內にあつたが外國二社の態度が未だ確定せざるため前年度實績通り割當てることとなつた

△昭和十一年度販賣數量　キロリットル

揮發油 一、二五〇、〇〇〇
燈油 一四〇、〇〇〇
輕油 一三五、〇〇〇
機械油 二〇〇、〇〇〇
重油 一、一六〇、〇〇〇

日伯電信料金 値下げ

【東京國通】二月十六日より實施された南米諸國への電信料引下げに漏れてゐたブラジル國宛電信料も愈四月一日より改正され一語料金は四フラン六十サンチーム（三圓二十二錢）である

商工日報 活字入換て臨時休刊

新活字の入換と機械据つけのため滿洲商工日報社は三十一日附夕刊より三日まで臨時休刊す、四日より紙面を刷新平常通り發行す

稻葉庶務係長赴連

新京地方事務所庶務係長稻葉賢一氏は三十一日本社に於て擧行される勳章傳達式參列のため三十日午後八時の列車で赴連する

綾瀨川關來京 体操普及

大日本體育獎勵協會理事長綾瀨川山左衛門氏は鮮滿に相撲道により體操普及の目的で三十日來京富士屋旅館に投宿同日挨拶に來社した、新京に於けるプランはこれから立てられる筈

陸軍異動追加

【東京國通】

陸軍工科大學教授部長 砲兵大佐 馬場保雄
補陸軍砲工學校砲兵科長 野戰重砲兵第七聯隊付 砲兵少佐 落合小一
補野戰重砲兵第七聯隊大隊長 兵器本廠付 砲兵少佐 飛松伸三
補野戰重砲兵第七聯隊付 鐵道第二聯隊長 工兵大佐 安達克己
補近衞師團司令部付 工兵學校教官 工兵大佐 木村經廣
補鐵道第二聯隊長 砲兵大佐 和田盈
補工科學校教授部長 航空兵大佐 東榮治
補航空本部付

石油聯合株式會社設立

【東京國通】日石、三菱石油、小倉、早山、愛國、日ソの六社は今回愈々懸案の石油販賣統制を目的とする石油聯合株式會社（資本金三十萬圓）を創立することとなつた、同社は石油の全製品の販賣統制を目指して創立されたものであるが、差當つてはガソリンのみを取扱ひ尚商工省の割當をその時の經濟情勢に鑑みて按配する模樣である

東京高師柔道部 四日來京

東京高師柔道部十四名は同校櫻庭教授引率の下に四日午後二時來京松屋旅館に一泊五日午後四時發赴哈七日午前六時二十五分來京同七時南下の豫定である、なほ一行の氏名は左の如くである

引率者櫻庭教授五段味岡淨、四段老松信一、同小田良省、同小野田遵、同加藤常一、同川崎國夫、同北澤辻吉、同倉田勇、同小瀧四郎、五段佐藤守直、同進藤末治、四段鈴木肇、五段羽川伍郎、四段林立司

選拔中等野球 岐阜商勝つ 對廣商戰 3A—2

【甲子園國通】全國選拔中等野球第一日最初の試合第一回戰岐阜商業對廣島商業戰は廿九日午前十一時七分廣商の先攻で開始、結局三A對二で岐阜商業勝つ 閉戰午後一時四十一分

松山商業勝つ 對浪速商業戰 1A—0

【甲子園國通】松山商業對浪速商業の試合は廿九日午後二時廿五分から浪速商業先攻で開始、結局一A對零で松山商業勝つ 閉戰四時廿七分

早大快勝 早大對滿倶 ラグビー戰

【大連國通】早大ラグビーチーム第一戰たる對大連滿鐵倶樂部戰は廿九日午後三時より大連運動場にて先づ兩軍の入場式に次で吉村滿洲ラグビー協會長の挨拶あり、桂審判の下に滿倶先蹴で開始したが前半より早大、滿倶を壓し前半十九對三、後半卅四對零で結局五十三對三で早大快勝した 閉戰四時五分

故鎌田上等計手 けふ葬儀

關東軍經理部附上等計手故鎌田八百藏氏の葬儀は三十日午後四時祝町太子堂に於て執行されたが軍關係各補團體代表等多數參列があつた

前天津市長 程克氏逝去

【天津廿九日發國通】前天津市長兼冀察政務委員會委員程克氏は昨年秋以來心臟病で病床にあつたが廿八日午前八時遂に自宅に於て逝去した享年五十二

岩木警正令息

首都警察廳警務科岩木警正長男大連中學四年生漸（一七）君は腸チブスで大連醫院に入院中のところ二十九日午後八時三十分死亡した

街の日記 文藝座談會

本社學藝部主催恒例文藝座談會は昨二十九日午後二時よりX喫茶店に於いて開催出席者十四名、盛會裡に四時散會した、詳細は學藝欄に於いて報告する

あす（卅一日）

△植田關東軍司令官 午前十時、駐滿海軍部に挨拶 同十時三十分、滿洲國國務院へ 同十一時三十分、記者團と會見（於官邸） 午後六時三十分、着任披露宴、ヤマトホテル
△運送業組合總會、午後七時

今晩の主なる演藝放送

▲七・〇〇河東節「亂髮夜編笠」（東京）山彥米子、山彥壽々子▲七・三〇尺八俗曲、「春七題」（名古屋より）加藤溪水（秋田より）一、「詩吟調」二、「江差追分」島山浩藏▲七・五〇ラヂオ・ドラマ「新東京見物」（東京）

天氣と氣温

明日の天氣 南西の風晴後薄曇
日の出 前五時二十三分
日の入 後六時〇四分
月の出 前十一時三十四分
月の入 前一時五十七分
けふの氣温 最高 十一度八 最低零下六度

鴨綠江河口に標識 滿鮮間に諒解なる
＝四月四日三ケ所に設置＝

【安東國通】豫て滿洲國交通部と朝鮮總督府との間に於て折衝協議中であつた鴨綠江標識設置問題はこの程漸く全面的取決めを見たので、廿八日書輪を以て張安東航政局長と井上總督府遞信局長との間に調印書の交換を了し四月四日鴨綠江河口三ヶ所にその設置を見る事となつた

會葬御禮

荊妻テル子儀大連病院入院加療中の處藥石効なく二十七日遂に死去仕候に付此段生前辱知諸彥に謹告候也
追而葬儀は卅一日午後三時高野山金剛寺に於て執行仕べく候
昭和十一年三月三十日
夫 神谷義季
親戚總代 新宅啓三
友人總代 武田新造

會葬御禮

靑井正一

演藝と映畫

アメリカのスター年收

筆頭はメエ・ウエスト

我が國でも映畫スターといへば內幕は兎に角澤山のお給金を戴きその豪奢な生活振りはミーちやんハーちやんの羨望の的となつてゐるが、映畫王國アメリカのスターとなると文字通り莫大なお給金で物凄い豪勢振りを見せてゐるアメリカ稅務署が課稅のため調べたスターの昨年度年收は筆頭がパ社の姐御スター、メエ・ウエストで勿驚三三九一六六弗とある、之は自分で原作するといふパ社との契約がるから原作料をも含んでゐるのであらうが一ケ月二萬八千弗以上とは一寸羨しい、以下主なるスターの年收を擧げて見ると

ビング・グロスビイ一九一〇〇〇弗、コンスタンス・ベネット一七六一八八弗、W・C・フイールズ一五五〇八三弗、マレーネ・デイトリッヒ一四五〇〇〇弗、チヤーリイ・チヤツプリン一四三〇〇〇弗ゲーリイ・クーパー一三九六六七弗、シルヴイア・シドニイ一一〇五八三弗、クローデット・コルベール八五〇〇〇弗、ジヤック・オーキー八二六六六弗、ミリアム・ホプキンス七一一四五弗、アドルフ・マンヂュウ六七〇〇〇弗、ジョージ・ラフト六一六六四弗

等だが變つた處では女社長のマリオン・デヴイスは一〇四〇〇〇弗、メリイ・ピックフオードが五二七五〇弗又ウオルト・デイズニーはシリイ・シムフオニーとミッキー・マウスで一一九五〇〇弗と査定されてゐる

高田プロに園江幸子入社

高田プロでは資本金五十萬圓の株式化計畫を進める一方それに備えて俳優陣の充實に努めてゐるが今回更に高田稔の新相手役女優として園江幸子が入社した、同女優は松竹少女歌劇の出身で東京生れの本年十九歳、立正高女から少女歌劇入りをしたもので同プロ新作村上潤監督「曉の爆音」にデビウする

佛蘭西の空中戰映畫

「最後の戰鬪機」近着

歐洲文藝映畫音樂映畫に「帝王の道」「ジヤンヌ・ダイク」等の戰爭映畫を加へて陽春の映畫陣を堅めてゐる東和商事にケッセルの名小說「エキスパージュ」を映畫化せる「最後の戰鬪機」が近く到着することになつた、これは大戰中に飛行中隊が最後の一機まで戰ふ悲壯な活躍を淡い戀の三角關係を配して描いたものて監督はアナトール・リトワック

公會堂と映畫館（上）

眞殿星磨

解氷期が近づくと共に、多眠中の國都建設工事は再び活動を開始し、日々の新聞紙上は其豫報に賑つて來る。特別市公會室、帝國劇場、映畫館大衆座建設計畫の噂なども其中に混つてゐる。大變結構な事と思ふ。併し普通の建築物と違つて、公會堂や劇場は都市に取つて是非なくてはならぬものである同時に、有り過ぎても困るものであり、又一度建てたら他に轉用の道のないものであるから　之が計畫は餘程愼重に研究して懸らねばならぬ、此點に付二、三私の考へてゐる所を述べて見たい。

〇

先づ公會堂に就て見れば、言ふ迄もなく新京には記念公會堂といふものがある。之は今でこそ附屬地の公會堂の如き觀を呈してゐるが、目睫に迫つてゐる行政移管後は、附屬地特別市を打つて一丸としたる大新京の公會堂となるのである、其上にもう一つ五十萬圓も掛けて急いで公會堂を作らねばならぬ程の必要があるか否かは疑問である。公會堂本來の使命は市民の公共集會に在ることは言を待たぬ。其の公共集會はどの位あるかと云へば記念公會堂の昭和十年度の統計は僅に七十二日間である、即ち一ケ月の內六日間しか公共集會場としての需要はない、特別市と一緖になつた所でこれ以上大して殖えやうとは想へぬ。假りに此倍數になるとしても、決して公會堂を二つにせねばならぬ程の數字ではない。

〇

若し公會堂が、たつた丈けで經營費を要しないものならば、それは一つよりは二つあつた方が便利である。併し自給自營を本旨とするならば全く共倒れとなるの外はない記念公會堂前記七十二日間の公共集會に依る收入は、僅に二千五十圓にしかならぬ。夫れに對し一ケ年の維持費は二萬八千圓である。電燈料だけでも五千圓かゝる。即ち公共集會にのみしか使はぬとすれば、一ケ年の收入を持つてしても一ケ月の維持も六つかしいのである。記念公會堂は幸ひ其餘日を興行其他の目的に利用せられるので、其收益に依つて經營が成立つてゐる。公會室は市民の公共集會にのみ使用するものなりとの定義は市民がそれを市費に依つて維持する場合にのみ適用する。それが出來ぬ限り甚しく本來の趣旨と背反せざる範圍內に於て、之を營利的に利用するのは蓋し已むを得ない實狀である

仙人掌

白十字のおばチヤン、かほるクンが生れて始めて彩票を買つた、だから「必ず一萬圓當る」のださうである、「さうと決つたら何か奢つてくれ」と頼んだが、首を橫に振つて「一萬圓當つたらあんた等とは口をきかんから、その積りで…」とは、薄情でショッ（コレハ金繁樓の眞似）▼モンテカルロといふカフエーはやたらに廣い、廣いのはいゝがこゝの女給サン達はお客さんをダンサーと間違へとる、來るひと〴〵皆んなが「踊りませう」と言ふ、チケットをくれんのが不思議でならん！▼もと『ミユジック』にゐたよし子は『ハリウッド』にうつつて、急に元氣になり新しい洋服を買つたりレコードに合せて足踏みをしたり、春ともなればこれも生理的現象らしい

雜音

一日より豐樂に「女軍突擊隊」が掲る「エノケンの近藤勇」「男の魂」を配して久方振りにP・C・Lプロの擡頭だ▼帝都の開館一週年記念興行、スターの人氣投票は新京映畫ファンの好みを知るためにちよつと興味深い思ひつきだ▼公會堂に「朝鮮名畫」掲る、同胞の慰安に正しい潤ひを與へやう▼長春座の公會堂興行、ものにならず、お客さんを甘く見すぎてクでジヤン・ピエル、オーモン・シヤルル、ヴアネル・アナベラ、ジヤン・ミユラ等が共演してゐる

は不可ない▼新京キネマに一日からパブストの「ドンキホーテ」が再映されるシヤリアピンの人氣を追ひかけるのも思ひつきではある、御本尊を聽きたかつたのだが、繪空ごとで甘んじなければならないとは不甲斐なき仕儀ではあつた

女軍突擊隊

P・C・L映畫、中野實の原作を永見隆二が脚色に當り、木村莊十二が「都會の怪異七時〇三分」に次いで監督に當つた、主演者は堤眞佐子、宇留木浩、神田千鶴子、小島洋々、藤原釜足等で、堤眞佐子が女探偵に扮して全女性のために健鬪する明朗な喜劇が、鋭い諷刺を含めて描かれてある、キヤメラは三村明、豐樂劇場一日封切、寫眞はその一場面

火曜　三月三十一日　壬子　大安　收　翼宿

●一白の人　八方に手を出す時は一方も滿足にならぬ日
●二黑の人　望みの綱も切れ果てゝ取付く所なきが如し甲と丁と戌が吉
●三碧の人　目上の爲めに地位の安定を失はんとする日辛と艮と寅が吉
●四綠の人　自己の能力を信じて他に頼らぬが得策の日庚と辛と丑が吉
●五黃の人　多事に煩はされて心落付かぬ日焦慮するな巽と未と乾が吉
●六白の人　素志を貫徹して優良なる成績を擧ぐる吉日未と乾と戌が吉
●七赤の人　派手に仕事を爲さば手ぬかりを生ずべき日巳と未と戌が吉
●八白の人　前後を顧み危險に立寄らぬ樣注意すべき日巽と丁と未が吉
●九紫の人　少しの手違ひをも生ぜぬ樣愼重なるが肝要甲と戌と丑が吉

シヤリアピン氏のドンキホーテ上映に就いて

今般世界的聲樂王シヤリアピン氏の來滿に際して我が國都新京に於いて其の公演の實現を見るに至らなかつた事は誠に遺憾に堪へない次第であります尤も大連協和會館に於ける三月廿五日一夜の公演料が八千圓也より推して當地公演の容易でなかつた事も察しられます

茲に於いて同氏の風貌に接し且つ其の偉大なる聲樂王の肉聲を賞讃すべく

四月一日よりシヤリアピン主演の

唯一の大作　ドンキホーテを

上映する事に致しました完璧無比を誇る當館のウエスタン發聲機に依つて心ゆくまで御鑑賞あらん事を切に御奬め申し上げる次第でございます

尙同時上映として感激の淚無くして見られぬ海洋大國寶映畫オールトーキー赤道越へて及びオールトーキー忠次とお萬　一齊封切でございます……何卒此の擧に御讚助賜はりまして靄風の訪づれ近き陽春の一刻を當館にお過し遊されん事を御願ひ申し上げます

左に三月二十五日大連協和會館に於けるシヤリアピン氏の公演に對する滿洲日日新聞社松本光庸氏の批評を轉載して見ます

すばらしきかな　シヤリアピン！

シヤリアピン、シヤリアピン、シヤリアピン…正直なところ僕など到底彼を批評する柄ぢやない。

いや、さういつちや失禮だけど見渡したところ恐らくこの國中にだつて彼を滿足に批評し得る評者は一人もなささうだ。

さういつたからとて恐いところばかり拾ふのが批評の役目ぢやないことは百も承知なんで更に良い點を一段と高く導くのが重要な事柄なんだが、シヤリアピンの齒の場合惡いところがあるどころか、人間の聲の能力がもう餘すところなく發揮され、文字どほり轉變自在神技といつても過言でない位だから批評の對象のお手本にはなり得ても決して批評の對象そのものにはならないと思ふのだ。

×

それはまつたく人間の喉と空氣との二位一體的機能の極致で歌詞が歌はれるかぎり解ればそれに越したことはないが、でなくてもこの極致に陶醉する分には一向差支へないのでこれが彼の凄いところ。多分平常には〝言葉が解らんから〟と躊ひこぼす人も〝そんなのは聽きに來ないだらうが〟シヤリアピンばかりには感歎の聲を漏したにちがひない。

×

時には獅の咆哮のごとく時には美女のすゝり泣きに似て、或ひは千軍を叱咤する帝王を想はせ或ひは戲畫的な道化師そのまゝにと彼に與へるべき形容こそ千變萬化。

ビクターの人たちに叱られるかも知れないがこいつばかりは罐詰音樂ぢやちと無理で、昨夜歌はれた十四の曲目中レコードでお馴染の〝ヴオルガの船唄〟〝セヴイラの理髮師〟〝二人の擲彈兵〟〝蚤の歌〟につついて比べてみればよく分るし、面白いことでもある。

×

彼について僕の印象に一番深いことは〝一日に鷄卵を何個飲みます〟とか何とか卵の數が聲の良否のバロメーターのごとくにふれ廻るそんじよそこらの聲樂家とちがつて平素大いに呑み且つ食つてケロリとしてゐる彼であることだ。このよしあしをいふのは野暮の骨頂だが、しかも一たびステージの人となつた時にはレジの人となつた時には神經質なほどまでの眞劍さと嚴肅さの彼に返ることでこれにはホト〳〵兜を脫がざるを得ない。

ヤマトホテルの醉つぱらひが協和會館では忽ちにしてヴオルガの船曳きであり、セヴイラの理髮師である。で、僕はこれをたゞ奇蹟といひ去り、または面白半分にいひふらすのではない。傍からはハラ〳〵するほどのこの鮮かな自己操縱ぶり、このけじめのつけ方、これこそ一朝一夕のものではなく五十年の彼の勞苦の賜なりと考へ、それにつけても〝鷄卵〟云々の生つちよろさを痛感するのだ。

×

彼の野人振りと童心とは定評だがさういへば彼の歌ひつぷりは極めて自然だ。「人工」による技巧家ではなくして「自然」を生かす技巧家である。歌の感情に應じて自然と體が動き、表情が伴ふ―それは自然さうなるので。同時に歌ふべく最も樂な姿勢であり表情なんだが、それが彼にあつては即ち「藝」である。

オペラの彼をみない僕にはた分いひきれぬがさういつた事柄を見逃し得ないことだけは確かだ「板につく」とは正しくこんなことなんだらう。

×

彼の囁くやうな弱聲すらも隅々に傳はることは昨夜後ろの隅つこで聽いてゐた人が一番よく知つてゐるだらうし彼の豐富なレパートリイから僅か二、三を拾つて喋々するのも大人氣ないから、僕のシヤリアピン禮讚はこれ位にしておかう。

そして最後に昨夜の聽衆とゝもにこの公演がわが滿洲樂界に寄與するところ少からざりしを祝福し併せてこの老コスモポリタンに高らかに呼びかけよう。〝御機嫌ようシヤリアピン！〟

―三六・三・二六―（光）

新京キネマ

愈々關東州内から小洋錢は消える
買入の細目本日公布さる

關東局では關東州内に於る小洋錢の通用禁止期日たる四月一日を明日に控え差に右に關して公布された勅令及關東局令に基き卅日附を以て左の如く買入るべき小洋錢の品位、量目、買入價格、買入場所、買入期間並に決濟相場に關する關東局令を公布した

△關東局告示第廿二號 昭和十年關東局令第七十三號第一條第一項の會及金融組合を左の通り指定す

昭和十一年三月廿六日

滿洲國駐剳特命全權大使 植田謙吉

一、會 各會
二、金融組合 大連會屯、旅順會屯、金州、普蘭店及貔子窩各金融組合

△關東局告示第廿三號 昭和十年關東局令第七十三號第三條の買入る可き小洋錢の品位、量目及買入價格は左の通りとす

昭和十一年三月卅日

滿洲國駐剳特命全權大使 植田謙吉

一、品位 銀純分凡そ千分の六百七十
二、量目 二角銀貨に付凡そ五・二瓦
二角銀貨以外のものに就ては右の割合に準ず
三、買入價格 百元に付金七十八圓

△關東局令第十五號 昭和十年勅令第三百十三號第三條の規定により小洋錢を以て表示する債務を朝鮮銀行券又は貨幣法による貨幣を以て辨濟する場合の相場は小洋錢百元に付金七十八圓とす

附則

本令は公布の日より之を施行す

昭和十一年三月卅日

滿洲國駐剳特命全權大使 植田謙吉

關東局は本日小洋錢の通用禁止並に買入に就て當局談の形式で左の如く發表した

關東州に於る小洋錢の通用禁止並に小洋錢の買入に關しては昨年十二月勅令第三百十三號及關東局令第七十三號を以て定められた通りであるが、愈々通用禁止期日たる四月一日も目前に迫つたので今般該勅令及局令に基き買入る可き小洋錢の品位、量目、買入價格並に買入期間を告示し併せて小洋錢建債務の決濟相場に關する關東局令を公布した、右に付差當り心得置くべき要領は大體次の通りである

一、買入る可き小洋錢の品位量目及買入價格品位は大體純銀分千分の六百七十を、量目は二角銀貨に付大體五・二グラム(二角銀貨以外のものに付ては右の割合に準ずる)を標準とし多少品質に差等があつても從來日常一般取引に公然使用せられた程度のものは凡て一律に小洋錢百元に付金七十八圓の割合による價格を以て買入れる、但し僞造若くは變造貨又は特に惡質若くは甚だしく量目不足と認めるものは之が買入れを拒否する

一、買入場所 各會事務所(大連會屯、旅順會屯、金州、普蘭店及貔子窩各金融組合)毎日午前九時より午後三時迄、但し日曜日及祝祭日は買入を爲さず

一、買入期間 四月一日より六月卅日迄小洋錢所持者の要求に應じ買入を爲す

一、小洋錢建債務の決濟相場 本年三月卅一日以前に成立した小洋錢を以て表示する債務は四月一日以後は必ず朝鮮銀行券又は貨幣法による貨幣(金貨及補助貨)を以て辨濟するを要する處、市場の爲替相場は既に存在せざるにより特に關東局令を以て小洋錢建債務の決濟相場を小洋錢百元に付金七十八圓と公定した

尚四月一日以後にあつては小洋錢建で新規の契約をなす事は出來ない事になるのであつて若し斯樣な契約をすれば民法第九十條により一切無效と解釋する

一、小洋錢の輸入禁止 關東州に小洋錢を輸入する事は昨年十二月關東局令第七十四號により嚴禁する所である

中國銀行の紐育支店設置

【ニューヨーク國通】支那の中國銀行は今回ニューヨークに支店を設置する意向なる旨發表したが、これは著しく當地外國爲替業者の注目を惹いてゐる、外國爲替市場では右支店設置により從來ロンドンに於て行はれた上海弗の思惑が今後ニューヨークに於て行はれる事になるであらうと觀てゐる

小川商相の登場で愈産業統制へ
商工當局革進政策を要望

【東京國通】財政、經濟通の小川商相就任に對しては省内は勿論財界からも頗る好評を以て迎へられ非常な期待を寄せられてゐるが、商工當局は新商相に對しこの際省内の人事刷新と重要産業統制法その他の行政改革を決定し名實共に現下の社會情勢に適應する産業政策の改革を望んでゐる即ち

一、重要産業統制法改正案は生産偏重から消費者保護に向つたとは云へ現今の經濟機構からすれば中産層に重要部門を有する配給方面に對し何等の考慮が拂はれて居ないので改正に當つては新事態に即した生きた法律として統制法中に配給層に對する條項の挿入が必要である、又商工中央金庫にしても獨自の商工金融機關たる以上原案の興銀事業代行資本金五百圓は不足の甚しきものだから、資本金一千萬圓で獨立の機關たらしめねばならない

其他兎角閑却され勝ちだつた中層商工業政策に對しても更に積極的な施設が必要とされてゐる

一、商工省内の人事は近來頓に沈滯してその餘波は異動刷新、事務官の一致結束が叫ばれて動搖して居るのでよく省内の動向を察しこの際速かにこれが禍根を除去して部内空氣の一新を必要とする

油房問題續り特産座談會

【ハルビン國通】滿洲特産中央會主催の特産座談會は廿八日午後一時より商務會に於て擧行、先づ遠距離遞減運賃の齎した影響につき種々意見の交換あり、ハルビン油房原料特定運賃、油房自体の經營改善の必要が力說され、次で糧棧を單なる特殊機關とするは一部の偏見であり助成强化すべしとの有力意見の開陳ありその他一般特産問題に就て終始熱心に討議が行はれた

日窒野口氏乘出し 間島に送電計畫
既に虛川江に水利權獲得

【大阪國通】野口日本窒素社長は北鮮に於る長津江、赴戰江の二大水田を根幹として老大な日窒事業を確立し、同時にその餘力を以て北部電力事業の一切を支配しつつあるが今回豆滿江支流虛川江に廿三萬キロワットの水利權獲得に成功し、遂に滿洲に地盤進出を實行することゝなつた即ち同社は朝鮮總督府より水利權の認可を得たので、先づ工事資金六百萬圓を投じ滿洲國間島延吉迄約三百七十キロの送電線敷設に取掛る事となり目下測量を開始し、明年度完成の豫定で、これによつて從來火力發電にのみ依存した滿洲國產業に對し新動力を供給するのみならず、日窒自體の滿洲企業進出の足場を作るものと觀られる

滿洲電業會社躍進の業績(中)
第三回株主總會社長挨拶續

20、磐石送電線新設…(三三、〇〇〇V亙長四〇粁)
21、楊家杖子送電線新設…(三三、〇〇〇V亙長九粁)

等でありまして夫々完成又は目下工事施行中であります

以上を以て本期の事業施設並營業狀勢の一班に對する說明を畢つたのであります

× ×

此の機會に於て昭和十一年度の事業計畫並資金狀況の大要に少しく言及して見度いと思ひます

一、事業計畫

滿洲國諸般の產業、文化の動向を對象とし會社將來の事業計畫を考按しまして之に順應する爲昭和十一年度に於ける事業擴張又は改善計畫の爲豫算に計上せる總額は一七、五〇〇、〇〇〇圓でありますが其の費目の主なるものは

發電設備 六、四〇〇、〇〇〇圓
變電設備 四、六〇〇、〇〇〇圓
配電設備 二、四〇〇、〇〇〇圓
其の他 五、一〇〇、〇〇〇圓

でありまして此の中發電關係の主要計畫は

1、發電關係

目下急速に進展しつつある

新京……一四、〇〇〇KW發電機一台の增設及五、〇〇〇KW移設
哈爾濱……一〇、〇〇〇KW發電機一台增設
安東……五、〇〇〇KW移設による增備
齊々哈爾……二、五〇〇KW移設による增備
營口……一、五〇〇KW移設による增備
牡丹江……二、〇〇〇KW移設による增備

2、變電關係の主要計畫は

昭和製鋼所第一次變電所屋外施設(一五四、〇〇〇KV)A變電所一五、〇〇〇KVA變壓器四台及其他の買收鞍山工場地帶附近に二〇、〇〇〇KVA三台の變電所新設
奉天に於ける五、〇〇〇KVAの新設
立山に於ける三、〇〇〇KVAの新設
鞍山に於ける二、〇〇〇KVA四台、一五、〇〇〇KVV調相機二台の新設

3、送電關係の主要計畫は

新京に於ける五〇、〇〇〇KVA四台の增設
周水子に於ける三、〇〇〇KVA三台の增設
鞍山西變電所送電線 亙長 三九〇米の新設
撫運分岐線 亙長 七三〇米の新設
渾遼送電線 、
新義州送電線 亙長 六三〇米の新設
三KV架空線一回線增設
撫順に於ける一五、〇〇〇KVA四台の移設
安東に於ける二、〇〇〇KVA三台增設

4、配電關係の主要計畫は

奉天並哈爾濱に於て電壓統制に伴ふ配電線及變壓器改設
奉天城內夜間線新設並改設

等であります

長(書評)

けさ筆者の手許に大連滿洲評論社刊行の『再分割の危機に立つ支那』が送り届けられた、內容の大部分は本年劈頭より『滿洲評論』誌上に連載されたものであるが、一本にまとめられたのを見ると、また現代支那の良き理解のために好個の資料たるを失はぬ▲日本の大陸政策の北支那に於ける異常な展開は、言ふまでもなくその地方を繞る内外政治情勢の逼迫の所產であつた、そして『世界危機の極東に於ける發火點』と稱される支那の右の如き情勢に關して、それをわが大陸政策の本來的對象として科學的に嚴密に把握することの必要が、今日ほど切實に感ぜられるときはないといふことも今となつては人々の眼前に明瞭な所である▲本書の內容詳細については他の機會に書くことを得るであらう、記者はとりあへずここに錄して本書の公刊成れるを告げる—「洪濤の激しけどなほ警語あり」

三月中旬新京に於ける 重要商品狀況(下)
―新京商工會議所調査―

▲麻袋=逐日特產の出廻減少にて實需殆んど無きため新規契約を見せ相場も先旬以來の四三錢四に保合ひたるが旬末一厘方放上されて越旬せり

△旬末相場左の如し

品名	單位	中旬末	上旬末
鐵筋	一枚	四三錢五	四三錢四
實筋	一枚	五〇、〇	五〇、〇

▲旬中の驛到着數量は一五三瓲

▲紙類=相場は各品とも前旬以來不變にして商勢依然活況を呈し紙類旬中到着數量も上旬に比し六十三瓲の增加を示してゐる

▲旬末の主要品相場は左の如し

品名	單位	中旬末	上旬末
模造紙	一磅	一圓一七〇	一圓一七〇
印刷紙	一磅	一七五	一七五
更紙	一連	四、三五〇	四、三五〇
仙鶴連史	一俵	二一、三〇〇	二一、三〇〇
有光紙	一連	三、〇〇〇	三、〇〇〇
古新聞紙	一表	七、七〇〇	七、七〇〇

▲旬中の到着(諸)數量は左の如し

品名	數量	品名	數量
模造紙	四三瓲	更紙	四一瓲
印刷紙	二八	新聞紙	三六
ハトロン紙	一三	其ノ他洋紙	九
ボール紙	四四	海紙	三二
川表紙	一一	和紙	四
紙製品	一九	塵紙	七
其他紙類	五五	合計	三四二

▲米穀=逐日需要は旺盛に赴き相場も强氣配にて上旬末以來の保合相場を維持して越旬せり

品種	單位	中旬末	上旬末
特等白米	四三瓩	八圓〇〇	八圓〇〇
一等白米	同	七、六〇〇	七、六〇〇
二等白米	同	七、二〇〇	七、二〇〇

▲麥粉=特產の馬車出廻依然捗々しからず而も水豆問題に打擊されたる農村の購買力亦喚起されざるに依り本品の賣行も思はしからず相場は保合裡に越旬せり

北滿粉

銘柄	容量	中旬末	上旬末
綠三星	四九磅	三圓一〇〇	三圓一〇〇
紅三星	同	二、九〇〇	二、九〇〇
紅三星	同	二、七〇〇	二、七〇〇

▲砂糖=前旬に引續き大連市場に於けるストックの消化不良に當地相場は北滿各糖が保合へる他何れも低落を示し特產の馬車出廻りの折柄商內も不活潑裡に越旬せり

會社名	商標	單位	中旬末	上旬末
日糖	J印	一俵(二五斤)	二〇圓六〇	二一圓八〇
同	N	同	二〇、二五	二〇、四五
同	HS	同	二〇、〇五	二〇、二五
明糖	YPP印	同	二〇、五〇	二〇、六〇
同	YPO印	同	一九、六〇	一九、七〇
北滿	阿什河角糖	一箱(二五包)	四、〇〇	四、〇〇
旭	A印氷糖	(一箱五斤)	一一、七〇	一一、九〇

▲鮮果=林檎、溫州、ネーブル及梨は減少期に入りたる折柄相場昂騰せるがメロン及夏蜜柑は出廻期に入り相場の低落を見たり

品名	容量	等級	中旬末	上旬末
林檎(國光滿)	一箱(四貫)	一等品	四圓八〇	四圓五〇
同(紅玉滿)	同	同	四、七〇	四、五〇
同(倭錦滿)	同	同	三、二〇	三、二〇
メロン	一貫	並	一〇、〇〇	一二、〇〇
溫州(伊豫)	一箱(六・五貫)	大玉	五、五〇	五、〇〇
夏蜜柑(伊豫)	一箱(五・五貫)	大玉	二、六〇	二、七〇
ネーブル	本箱(同)	同	五、〇〇	四、二〇
梨(晚三吉)	一箱(三・五貫)	同	三、八〇	三、五〇

商況欄 (三月三十日前場)

海外經濟電報

品目	相場
倫敦銀塊	一九片八分七
同 先限	一九片八分七
紐育銀塊	休會
孟買銀塊	四九留比八分三
米英爲替	四弗[illegible]仙四分一
米日爲替	二八弗八五仙
米支爲替	三〇弗一二仙
スチール	六三弗八分七
アナゴンダ	三四弗八分五
英日爲替	一志二片四分一
英支爲替	一志二片八分五
印日爲替	七七留比四分一

▲米棉

限月	相場
現物	一一仙七〇
三月限	一一仙三〇
七月限	一〇仙九三
十月限	一〇仙二五
十二月限	一〇仙二三
一月限	一〇仙二二
三月限	一〇仙二五

▲印棉

金銀市況

●上海標金 本寄 二四八、二 [illegible]

●大連金鈔票 現物 寄付 [illegible]

▲市俄古小麥

限月	相場
五月限	九六仙二分一
七月限	八七仙二分一
九月限	八六仙八分三

品目	相場
ブローチ	一九七留比
オームラ	一八一留比
ベンゴール	一四八留比

▲カルカッタ麻袋

品目	相場
實筋	二三留比〇〇
鐵筋	二〇留比二分一

●大連鈔票銀大洋 現物 一七、〇〇 一六、九五 引 不申出來 四月十三日限 四月廿八日限 出來高 [illegible]

爲替相場

▲上海爲替 ▲日本向 第一回賣買 一〇三、六二五 一〇四、一二五 第二回賣買 〃 第三回賣買 〃
▲倫敦向 第一回賣買 一志二片[illegible] 第二回賣買 〃 第三回賣買 〃
▲紐育向 第一回賣買 二九弗 八分七 一六分五

▲大連爲替 ▲上海向 一〇四、九五 四、八五 四、八〇 四、八五 ▲煙台向 一〇四、八五 四、九五 四、八五 四、八〇 出來高 一〇萬 第二回賣買 第三回賣買

▲阪神日米爲替 第一回賣買 二八弗[illegible]

▲阪神日英爲替 第一回賣買 一志二片[illegible]

各地株式市況

▲東京株式(短期) 寄 引: 東新 鐘新 滿鐵 日產 大新 [illegible]

▲大阪株式(短期) 寄 引: 新 新 產 鐘 [illegible]

▲大連株式(短期) 寄 引: 大新 鐘新 東新 日產 日魯 [illegible]

▲奉天株式(短期) 寄 引: 五品 豆鈔新 銭新 東鐵 滿新 二產 日新 鐘新 [illegible]

各地商品市況

取新 滿新 東新 大新 日產 五品 豆新 鐘鐵 滿新 二甲 電乙 同拓 東興 滿毛 優先 日魯 東亞 [illegible]

▲大阪棉糸 寄 引: 三月限 四月限 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 [illegible]

▲大阪棉花 當限 先限 [illegible]

▲大阪人絹 當限 先限 [illegible]

各地特產市況

●大連大豆 袋入 三月限 [illegible]

●同豆粕 ●同豆油 ●同高粱 ●哈爾濱大豆 ●同小麥 ●神戸豆粕 [illegible]

新京取引所市況 (三月卅日前場)

現物(一石値段) 大豆 高粱 玉蜀黍 定期(混合百斤値段) 大豆 三月限 四月限 五月限 高粱 三月限 四月限 寄 引 出來高 [illegible]

新京日日新聞　朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓
郵税　一ヶ月拾五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話（編輯局專用(3)二二二五　營業局專用(3)二二〇〇）
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

行政刷新諸方策掲げ　社會不安動搖を防止

内務省首腦部會議を開催　潮内相の手で實行へ

【東京國通】潮内相は一昨日中に本省首腦部會議を開催、現内閣の政綱に基き[illegible]の根本的檢討を遂げ具體案樹立の上實行に移さんとしてゐるが目下同相の腹案として行政刷新の諸方策は大要左の如きものと觀られてゐる

△地方長官の異動　[illegible]

△社會政策的施設の擴充と農村の振興　地方產業並に農村振興を中心に更生策に對する助成方針を確立し農村貧農救濟施設の擴充と、主として農村に重點を置いた社會政策の實施醫療機關の確立

△勞働政策の確立　勞働運動の歸趨を適確に把握して勞資協調の强化を期し更に進んで勞働者階級の福利增進生活擁護を圖るため勞働爭議調停法の改正をはじめ退職積立金制度の樹立、商店法等の諸懸案を積極的に解決すること

△治安維持の確保　保安警察を中心とする警察機能の擴大强化を圖り當面の問題として怪文書、流言ヒ語等の取締の徹底を期し社會不安、人心動搖を防止し治安確保の目的達成に努めること

庶政一新の大方針

樞府御諮詢事項を整理

【東京國通】政府は行政機構改革の一として[illegible]御諮詢事項の整理を[illegible]

[illegible]精なる運用を圖らんとして整理せんとする考へであれば樞府としても欣然これに應ずるものであるとして居るから政府の態度如何に依つてこれが實現は容易であると見られる

皇太子殿下、順宮樣　葉山から還啓

【葉山國通】御避寒中の皇太子殿下には[illegible]東京驛御着、御三ヶ月振りで宮城に還啓、御待兼ねの　兩陛下に御久振りで御對顏遊ばされた

東京事件に關聯せる　尉官級の異動

【東京國通】今回の事件に關聯した將官級の異動は去る二十三日、佐官級の異動は二十八日發令されたが、步兵第一、步兵第三、野戰重砲兵第七各聯隊並に豐橋教導學校中隊長以下の異動は三十日官報を以て發表された、その主なる異動、待命の分左の如し

步兵大尉　小澤政行
步兵第三聯隊中隊長　步兵大尉　矢野正俊
同　森田利八
步兵第三聯隊機關銃隊長　步兵大尉　內堀次郎
步兵第三聯隊附　步兵中尉　小杉留五郎
同　新井勳
待命被仰付（各通）
步兵第三聯隊附　步兵中尉　佐藤英彥
支那駐屯軍司令部附被仰付　步兵第四十五聯隊中隊長　步兵大尉　菅波三郎
野戰重砲兵第七聯隊中隊長　砲兵大尉　大橋武夫
步兵第一聯隊機關銃隊長
步兵第四十五聯隊附被仰付　步兵第七十三聯隊中隊長　步兵大尉　大藏榮一
同　佐々木二郎
步兵第七十三聯隊附被仰付（各通）

離滿の辭

陸軍大將　南次郎

此度、轉職の大命を拜し滿洲の地を離れることになりました

顧を回せば、昭和九年十二月着任以來一年三ヶ月の間一方ならず諸賢のお世話になりました、此間私に對し各方面の方々からお寄せ下さいました御芳志に對しましては深く感謝の意を表します、僅、一年三ヶ月と云ふ歲月は之を天地の悠久に較べますれば素よりのこと、夢の如き人生の一齣と致しましても決して長いものではありません、併し乍らこの一年三ヶ月の間には次から次と澤山の大きな仕事を致しまして、さながら何十年かの長い期間であつたかの樣にも想はれるのであります、一河の流、一樹の蔭と申しますか只今皆樣とお別れ致しますことは恰も何十年かの厚知と袂を別つにも似て惜別の情轉た禁じ難いものがあります

×

今や滿洲國は建設の途上に躍進を續け治安工作の著しき進展を見ましたことは申す迄もなく、政治經濟上の諸工作も殆んど形體を整へ、治外法權撤廢、行政權委讓の問題も略々決定を見まして國礎益々鞏く其前途は實に洋々たるものがあります、殊に昨年春滿洲國皇帝陛下の御訪日があり、次で五月には回ラン訓民詔書の發布がありまして以來日滿兩國の和親は一段緊密の度を加へ兩國依存の關係がいやが上にも明徵となりまして、滿洲國の威力が邊境各地に及ぶに至りましたことは誠に御同慶に堪へません、併し乍ら之を以て大業成れりと安堵致しますことは絕對に愼まねばなりません、大業竣成への彼岸に到達する爲の大工作は寧ろ今後に殘されてゐると觀るべきであります、即ち滿洲國の絢爛時代は將來に約束されてゐるのでありまして來るべき幾多の難關變局を突破してこそ初めて實現するものと信じて疑ひません、殊に接壤國方面にはソ聯及外蒙國境の紛爭があり、北支に於ては今や共匪の侵襲近く山西に及んで居る狀態であります、これ等も亦東洋和平の爲日滿兩國民一致協力して善處すべき重要事であります

×

併し乍ら私は雄心勃々たる諸君が日滿合作の堅き信念を基調として聖業恢弘の大旆の下に一路勇往邁進せられ必ずや大業成就の目的を完成せられる日の近きことを深く確信致しますと共に一方、滿蒙建設の人柱として忠死せられた幾多戰友同胞の英靈に對し最後の默禱を捧げつゝ此地を離れんとするものであります

×

終りに臨みまして在滿一年三ヶ月間に蒙りました諸君の御交誼に對し改めて再び感謝の意を表しますと共に日本歸還の後も終生日滿の親善と滿洲國の健全なる發展の爲努力を續けることを御約束致します

タウランの越境外蒙機　國境監視隊を爆擊

【關東軍發表】＝二十九日日滿兩國軍よりなる國境監視隊は國境附近巡ラの爲めアッスルスムより西南方に向ひ自動車にて前進中、不法越境し偵察中の外蒙飛行機一台を認めしが午後一時二十分頃タウラン（アッスルスム西南方約八十粁の地點にして明瞭なる滿洲國領內）に到りし時外蒙飛行機より突然爆擊及對地攻擊を受けたので止むなくこれに應戰、彼に損害を與え之を擊退したが我損害は戰死者兵一名、負傷者兵四名を出した

〝植田、板垣氏の指導で　重任完うしたい〟

今村參謀副長昨夜九時着京

新任關東軍參謀副長今村少將は三十日永友副官に公主嶺まで出迎へられ午後九時着『ひかり』で來京したが驛頭には山口警備司令官、佐々木軍政部最高顧問、河邊大佐、田中中佐外關東軍各幕僚、大使館山本、林出兩書記官、滿洲國側矢田參議、阮文敎部大臣、宮脇情報處長等多數名の士出迎へを受けて貴賓室に小憩後ヤマトホテルに投宿したが、同氏は車中、公主嶺迄出迎へた記者に對し左の如く語つた

滿洲に來たのはこんど五回目だが滿洲在が短かつたので滿洲國の認識は極めて淺い、着任後充分現地を認識し植田軍司令官や板垣參謀長の指導によつて重責を完うしたいと思つてゐる、幸に植田司令官とは閣下が朝鮮軍司令官在任中に御指導を受けて居り板垣參謀長とは仙台第四聯隊の將校團で一緒にゐたこともあるので良く知つて居り、萬事好都合である殊に植田大將とは上海事變當時連絡のため上海に行つた時に天樂寺で一緒に起居を共にしたこともあり閣下が遭難された時は僕は參謀總長宮殿下の御召しにより上京してゐたので幸か不幸か遭難しなかつたのである、滿洲事變當時參謀本部の作戰課長として白川閣下にお供をして來滿したが、その後佐倉第五十七聯隊長、習志野學校幹事を經て朝鮮に來た譯だが前にも言つたやうに滿洲の事情には明るくない、兄弟は女四人、男五人もゐるが、このうち男は騎兵中佐、航空兵少佐、砲兵大尉、と僕の四人が軍人、妹四人のうち三人は軍人に嫁づいてゐる、これは父が裁判官であつたが人を裁くのが嫌だつたこと、母が軍人の娘だつたこと

今村氏略歷

なほ同少將は宮城縣の出身で明治十九年生れ働き盛りの五十一歲で士官學校第十九期生、陸大の軍刀組で部內切つての秀才であり、滿洲事變當時は參謀本部作戰課長として敏腕を揮ひ上海事變には現地指導のため出征してゐる、その後佐倉第五十七聯隊長、習志野學校幹事、龍山第四十旅團長を經て今回關東軍參謀副長に榮轉したものである

とによるのだらう、長嶺子事件については軍司令部で調査してゐるので詳しくは知らない、家族は病氣をしてゐるので內地においてある

長嶺子事件の　近く商議開始せん

我犧牲者の死體引渡し要求

【モスクワ廿九日發國通】外務人民委員部はモスクワ駐劄太田大使の要求により去る廿五日長嶺子事件に際し戰死した帝國軍人二名の死體引渡し方を外務人民委員部極東出先代表に訓令した、右代表は近くウラジオストック駐劄帝國總領事杉下裕次郎氏との間に右死體引渡しに關し時日、場所等手續上の問題に就き商議する筈である

聯代表者と會見、拉致された日本將校及び兵各一名の死體を引取る事となつてゐるから一時急迫した該事件も今明日中に圓滿解決するものと觀られてゐる

一兩日中に　圓滿解決せん

【京城國通】長嶺子事件に關し朝鮮軍司令部への報告を綜合すると朝鮮軍司令部より派遣せる深堀參謀及び羅南第十九師團より特派された吉田參謀並に琿春駐在三宅領事の三名は三十日午后現地に於てソ

國境調整の我主張に　ソ側即答を避く

【東京國通】長嶺子事件に關する太田ストモニアコフ會談は廿七日モスクワに於て行はれたが、太田大使より卅日外務省に達した報告に依れば同大使は今次事件の如き危險なる事實が續發する滿ソ東部國境地帶の調整は兩國にとり焦眉の重大事件である點を强調して國境調整に關する左の諸點を明示しソ聯の回答を要求した

一、日滿兩國政府は滿ソ國境確定委員會を全般の國境に亘つて設定する事に同意する、特に國境紛爭の續發する興凱湖より豆滿江に至る山岳國境地帶の確定の速かなる事を期待する

一、滿蒙國境の問題は兩當事國に全部を擔當せしむべきであり、滿洲國の主張は滿蒙兩國の代表者交換、國境確定委員會、國境紛爭處理委員會を同時並行的に考慮する事である

右帝國の主張要求に對しストモニアコフ次長は即答を避け閣議に報告して何分の正式回答をなすべき旨を約し會談を終つた

伊空軍ハ市爆擊

市內各所に火災、大混亂に陷る

【アヂスアベバ二十九日發國通】イタリー軍用機三十臺は廿九日午前南方の要衝ハラル市の上空に現はれ燒夷彈を投下、猛烈な爆擊を敢行したこれが爲めハラール全市街は各所に火災を起しコプト敎寺院は全滅、フランスカトリック敎團經營病院も灰燼に歸した、首都アヂスアベバでは右は首都爆擊の前兆とみるもの多く、今やアヂスアベバは上下を擧げて人心恐慌を來して居る

駐英、駐白兩大使　閣議で決定

【東京國通】廣田兼攝外相は外交陣容の整備刷新を圖る可く先づ松平大使の宮中入りに伴ふ後任として吉田茂氏を起用し、更に缺員中のベルギー大使には來栖通商局長を拔擢する事に決意し廿一日の閣議に於て諒解を求めた上左の如く親任式を擧行の筈である

從三位勳一等　吉田茂
任特命全權大使　英國駐劄被仰付
從四位勳三等　外務省通商局長　來栖三郎
任特命全權大使　ベルギー國駐劄被仰付

山本、小林、中村の三大將等　豫備役に編入

【東京國通】山本、小林、中村の三海軍大將以下の豫備役編入は去る二十八日左の如く發令された

官	氏名
海軍大將	山本英輔
同	小林躋造
同	中村良三
海軍中將	今村信次郎
同	松下薰
同	津田靜枝
同	小林省三郎
同	大野寬
同	和波豐一
主計中將	池邊安雄
海軍少將	大西次郎
同	眞崎勝次
同	江坂道德
同	佐田健一
同	稍谷宗一
造船少將	橋口保孝
海軍大佐 男爵	山下知彥
機關大佐	加藤一雄
同	松木幸得
主計大佐	小園江芳之介
海軍少佐	板橋清

豫備役被仰付（各通）

獨總選擧の　最終結果發表

【ベルリン三十日發國通】ドイツ總選擧の最終結果は卅日午前一時暫定的に左の如く公式發表された

投票總數　四千四百九十三萬二千票
ナチス派　四千四百三十八萬九千票（九八・九パーセント）
反對派　五十四萬三千票（一・二一パーセント）

國務院會議の　決議事項

卅日の國務院會議に於て左の諸議案を可決した

一、高等官々等俸給令中改正の件
二、株式會社滿洲弘報協會に關する件
三、衞生技術廳官制中改正の件
四、特許發明法
　特許登錄令
　軍事上秘密を要する發明に關する件
　特許收用法
　特許登錄稅法
五、意匠法
　意匠の登錄に關する件
　軍事上秘密を要する意匠に關する件
　意匠の收用に關する件
　意匠登錄稅法
六、特許發明局官制
七、特許收用審査委員會官制
八、特許及意匠に關する各種の手數料の件

有田大使一日歸京　即日外相就任

【東京國通】專任外相に內定してゐる有田駐支大使は來る一日午後三時廿五分東京驛着歸京するので廣田首相は同日直ちに同氏と會見、外相就任の正式承諾を求めた上同日中に親任式を擧行することゝなつたが、有田大使の外相は就任後直ちに駐支大使の後任その他人事に關し打合せを遂げることゝなつた

長岡總務廳長の　辭表を奏上

長岡總務廳長の辭表は豫て張國務總理の手許に保留中であつたが、張總理は同氏の責任感念より出發せる衷情を諒とし且本件に關し既に植田新軍司令官との間に諒解も成つたので卅日開催の國務院會議に報告、直ちにその趣きを奏上した、本件は來る三日開催の臨時參議府會議の諮詢を經て勅許される筈である

病氣の故を以て提出された長

岩越中將　名古屋原隊歸着

【名古屋國通】在滿一ヶ年餘本部隊長として北滿討匪に輝く武勳を樹て今回參謀本部附仰付られた岩越恒一中將は卅日午前九時五十一分名古屋驛着列車で原隊に歸還、篠原愛知縣知事、田中留守司令官を始め官民多數の熱誠こめた歡迎を受けた岩越中將は直ちに熱田神宮に參拜歸國の報告をなし、次で衞戍病院に白衣の勇士を見舞つて後師團司令部に入つたが同夜偕行社で別離の宴を張り三十一日朝上京の豫定である

園部司令官　滿鐵本社訪問

【大連國通】〇〇司令官園部少將は三十日午前十時半滿鐵を訪問、松岡、大村正副總裁以下各重役と會見、就任の挨拶を爲した

人事往來

▲西尾參謀次長　三十日午後內地へ
▲板垣參謀長　同奉天へ
▲于宗鎭氏（侍從武官）同大連へ
▲林少佐（關東軍前新聞班長）同
▲御影池警務課長　同奉天へ
▲今村參謀副長　同着京內地より

航空往來

▲松田昇二氏（會社員）三十日午前ハルビンへ
▲筒井卯年生氏（同）同チチハルへ
▲武田正吉氏（同）同ハルビンより
▲鈴木兼茂氏（同）同奉天より
▲吉田甜繁氏（同）同ハルビンより
▲野津孝二氏（同）同
▲令忠良氏（同）同
▲鹽谷次郎氏（同）同午後奉天へ
▲秀平實（同）同
▲古瀨憲三氏　同ハルビンより
▲中野俊助氏（會社員）同チチハルより
▲堀江周作氏（同）同

社說

非常時と滿洲經濟　山積する問題に用意在りや

一

内外情勢の緊迫は、滿洲經濟の今後に對しても、山積する諸問題の、正しく時勢を認識し、しかも三千萬を超ゆる五族國民大衆の心からの要望に適應しつゝ周到の用意と決然たる實行とを以つて遂行さるべき當面の急速な解決處置を要求して居る。しかるにこれに關しての官邊的報道は餘りにも抽象に過ぎて居り、しかも個々の事象の變化に關しての說明は時に動搖と矛盾とをすら露呈してゐるかの感がある。而して、在住原有民の要望が合理的に上層機構にまで上達されてゐるか否か、新來資本への優遇が建國以來の建設工作精神を果して合理的に發展せしめてゐるか否か等については、なほ批判と檢討の餘地が存すると言はねばならないであらう。

二

こゝに年鑑の目次の如くに現に滿洲を繞る諸般の經濟問題を列擧するの煩瑣は避けやう。世界全般に、歐洲大戰以後不況の際は充滿した。滿洲もまたその列外に洩れるものではなかつた。今日輸出貿易品についても、販路の安定といふ如きものは世界何れの國の工業にも存してゐない。景氣回復のためには、商品の需要と供給とを差し當り略々均衡の狀態に置かねばならぬが、そのためには思ひ切つた大英斷を以て設備の切り捨て整理をなす等、産業界に對して荒療治をも施さざるを得ぬ。玆に於いて自由競爭主義はつひに不可避である。統制經濟、しかも現段階に於ける客觀的情勢に適要せる統制はわれらの滿洲國に於いても必至である。當局はこれに對して用意成れりや否や？

三

こゝに經濟學者の說明を藉りるまでもなく、或る種の統制經濟思想は、前世紀末より高度資本主義國内に在つては漸次發達實行せられ來つてゐる。すなはち、トラスト、カルテル、コンツエルン等の形に於いて具現したものがそれである。企業の聯合、合同等の集中形態は、生産を制限し、價格を調節し、需給の均衡を保持せんとしたのである。それには、當業者間の自治的協調もあつた。或ひは國家權力の發動もあつた。日滿不可分の關係に立つこの國に於いて今後の經濟建設の遂行は、いかにして可能な最大の圓滑さをもつて推し進められ得るか、強力な統制が眞に諸民族の日常生活にいかにして最小の摩擦を以つて成就され得るか。われらは建國以來、滿四ケ年の既往に省りみ、且つは内外情勢の變貌を照應し、今こそ國民大衆總意の反映がこの國に於ける政策の建立に集結晶せしめられねばならぬことを痛感する。斯くて[illegible]公に從ふの歡は湧く。

滿洲國阿片制度と阿片の概念（完）
支那の惡習から逃れて

四、巴里平和條約

大戰中に於る社會情勢は著しく麻醉劑濫用の增加を來した此等の情勢は延いて再び本問題に對して世界の注視を惹かしめた、其結果平和會議に於てヴエルサイユ平和條約中に一條項を設け（第二九五條）平和條約締約國にして海牙條約に署名若くは批准せざる國は該條約を履行すべく、平和條約の批准は海牙條約の批准と均しきものと看做す旨の規定がされた、之に依つて海牙條約は立派に萬國條約としての體裁を備へるに至つた、只二大阿片生産國と云はれる土耳古、波斯は加入しなかつた

五、國際聯盟阿片諮問委員會

大戰後國際聯盟が成立した爲一九二〇年の平和會議規約第二十三條により阿片及麻藥問題を取扱ふ權限を國際聯盟理事會に委任し又「阿片及其他危險藥に關する諮問委員會」の組織を見るに至つた、此阿片諮問委員會は阿片問題に最も關係のある諸國及瑞西、獨逸、ボリビア、伊太利、セルビア等の代表を網羅し、尙之に阿片問題の專門家を配し普通毎年一回、必要あるときは臨時に會合し阿片に關する報告、決議等を理事會に提出するのである、非聯盟國の米國も傍聽者の形で、本委員會に列席する本委員會の最も重要なる仕事は國際不正取引の監視であり阿片取引年報の審査である、委員會の此等に對する決議報告等は理事會が直ちに之を採擇するものであつて此阿片諮問委員會は法規上理事會の諮問機關に過ぎないが實質的には聯盟の意思を代表するものである

六、壽府阿片協定

海牙條約の不備の爲一九二四年一月壽府に於て再び阿片に關する國際會議が開かれるに至つた、壽府に於ては殆んど時を同じうして第一會議並に第二會議の二つの會議が開かれた

第一會議は阿片煙膏を主とする會議であつて、領土の一部に於て阿片煙膏の吸飮が認められて居る諸國即ち日、英、佛、蘭、支、葡、伊、シャムの八ケ國より成り此會議の終に議定書及最終議定書の二つが署名された、本會議は極東地方の阿片煙膏の製造國內取引及使用の漸次且有效なる禁止を實行すること即ち吸飮の爲にする阿片の使用を可及的速かに禁止する目的を達成する手段を講ずる爲に開催されたものであつて、本協定は既存國際阿片條約に對する補充的協定である、全十五條より成り（一）生阿片及阿片煙膏の輸入販賣は政府の獨占事業とすること又阿片煙膏の製造も同じく政府の獨占事業とすること（二）未成年者に煙膏使用を禁ずること、煙館に於る煙灰の使用禁止（三）生阿片及阿片煙膏の屬地又は領域よりの輸出、通過、積替等を禁止すること、又輸出入の場合には不正使用の虞なき中味を保證せる輸入國政府發給の輸入證明書を必要とすること（四）其他取引の取締の爲にする各國關係廳間の相互援助及海牙條約實施狀況の審査の爲時々會議を催すこと等を規定した

一方に於て所謂第二會議が開かれ四十餘國の代表者が參加した、第二會議は麻醉劑及其原料に關するものにして（一）生阿片及コカ葉に就ては其生産、分配及輸出の取締の爲に有效なる法規を設ける事（二）藥品の國內取締に關して其製造、販賣、輸出入等に許可制度を採用すること（三）印度大麻に關する不正取引の取締（四）國際取引は輸出入許可制度を採る事（五）阿片常設中央委員會の創立を規定し（六）本條約に關し紛議を生じたる場合は紛爭當時國は理事會の任命する專門機關に意見を求むるか又は國際司法裁判所に附託する事を規定した

第二會議も第一會議と同樣議定書並に最終議定書が附隨して居る、本條約の署名並に調印國數は次の如くである

條約調印國　第一會議の八ケ國も含めて三十五ケ國、議定書調印國二十三ケ國、最終議定書調印國二十六ケ國、條約批准國二十ケ國、議定書批准四十八ケ國

七、滿洲國との關係

滿洲國は國際聯盟加盟國及他の諸國（日本及サルバドルを除く）に承認されて居ないから滿洲國としては現存する之等の種々の國際條約の規定、或は聯盟阿片諮問委員會決議勸告等に何等の拘束をも受けるものではない、然し乍ら現在阿片問題を取扱ふ聯盟方面では滿洲國の阿片問題に對して種々の意圖から非難とか滑稽な宣傳が行はれて居て、然も之等が一般に信じられ隨分問題となつて居る狀態である

滿洲國の阿片專賣は世界の阿片に對する眞面目な努力を破壞に導くものであるとさへ言ふ者がある、之等は滿洲國の阿片專賣の眞意義に對し正確な認識を缺いて居る爲から生れて來る謬見であつて、時と共に解消するものと信ずる唯現在滿洲國の採用し又採用せんとする方法は明かに前述の諸條約の精神と一致するのみならず、國際聯盟の極東阿片調査委員の報告書の結論とも合致して居るものであつて、滿洲國としては飽く迄本來の主旨に即して此種の非難宣傳に屈せず力強い阿片政策の遂行を期して居る次第である

寫眞說明

（上）故北白川宮大妃富子殿下の御喪儀は二十六日豐島岡斂場に於て各皇族殿下を始め奉り各閣僚文武大官參列のもとに行はせられた

（下）故高橋是清翁の葬儀は二十六日事變より丁度一ヶ月の築地本願寺に於て行はれた、廣田首相を始め各大臣朝野名士數十名參列頗る盛觀だつた

丁香漫筆（八二）
日本精神の再檢討（下）

處が豫審と公判との陳述に喰違が生ずると豫審の方は便宜上述べたので公判での陳述が本當だと云ひ遂には法務官を犬だとまで罵つた。非常な雄辯で財閥政黨を痛烈に完膚無きまでにやつ付けたのである。からさらでだに政黨（財閥と結託して）の腐敗墮落に散々愛憎を盡かして居つた我國民は此に對して嵐の如き喝采の拍手を送つた。然し一方から見ると自己の主義主張の宣傳に法廷を百パーセントに利用したと云ふことは主義者の法廷利用（主義者に同樣の機會を與へられたら青年將校以上の雄辯を振つたであらうし、さなくとも起立を拒絕し法官を無視することに依つて常に世人の注意を喚起し有效なる宣傳に資した）の戰法と偶然にも一致した、日本精神を距る益々遠しの感があるではないか。總じて軍人の雄辯は興國の前兆では無い。

×

あの時の被告の心事は極めて純眞、其志は洵に諒とすべく滿腹の同情に値するとされたものだが其の行爲は嚴重に罰せられねばならなかつた約言すれば死を賜ふて可然であつた。處が國民同情の支持やら同期生會などの蹶起で姑息優柔の處斷に終つて了つた。當時一部の識者は眉を顰めて云ふた、白晝一國の首相を擊殺して二十年や十五年で濟むならこりや此れからの日本は多事ぢやと、言讖をなして日本歷史上空前の今回の一大不祥事變を釀成した、今度といふ今度こそはどんなことがあつても斷然たる處分で軍紀を振肅し上下相尅の宿弊を矯め禍根を一掃すべきである、涙を揮つて馬謖を斬るで致方ない關係將校全部に死を賜ふべきである、尤も半數位は既に自盡してることと思ふが。今こそいかさまの主義者的色彩の多い所謂日本精神を棄てて眞の日本精神に復らねばならぬ否らずんば危し。

×

事變後滿洲の冬は年々暖かになるので日本化の好現象として喜んで居つたが今年はあべこべに[illegible]の襲威が日本を征服して完全に滿洲化された。氣候ばかりと思ひきや『叛徒叛亂部隊 續々歸順』等々で此方も何んだか滿洲化した樣な氣がしてならぬ。日滿不可分も茲まで來ては耐らぬ、毎日滿洲で三人平均の皇軍兵士が死んで居る、此上日本でお互に殺し合ふと云ふことは何としても忍び得ぬ。二度あることは三度といふが今度と云ふ今度こそは絕對金輪際三度あらしめてはならぬ。遺憾ながら此度は空前の拭ふべからざる汚點を我史上に印したが此からは絕後だ如何あつても絕後だ。（二月廿九日舊稿）

北鐵沿線主要地 穀物在貨段

【ハルビン國通】哈鐵調査二月廿日現在北滿各鐵道沿線主要地の穀物在貨は次の如し（單位キロトン）

地區	品目	在貨
△哈市管區	穀物	一一七、六四六
	大豆	二五、一三〇
△濱北線	穀物	一三九、八九六
	大豆	八九、六七九
△松花江筋	穀物	一六二、九三九
	大豆	九七、一六四
△京濱線	穀物	三〇、一六二
	大豆	一五、六三九
△拉濱線	穀物	二一、九九二
	大豆	二一、二八二
△濱綏線	穀物	二六、五一七
	大豆	一九、六四九
△圖寧線及その延長	穀物	四、五九〇
	大豆	一、三三五
△賓州線	穀物	六九、三二七
	大豆	一六、一三六
△齊北線	穀物	一二二、二七八
	大豆	四八、六七二
△合計	穀物	六七六、三四七
	大豆	三一五、六八六
△前年同期	穀物	四二一、五五七
	大豆	二六〇、〇七七

哈市三月中旬特產商況

【ハルビン支局發】（普通大豆）＝十一日大連市場は日本市場の小康商況に好感し前旬來の弱人氣訂正となり奧地の雪解狀態に依る出廻激減貨車繰り順調に依る在荷薄を入れて當市五月限は旬中の安値三、七八に寄付き三、八四－強調を呈し引續き翌十二日地區に於ける商談成立を傳ふるや外商の船先手當買と邦商優勢買に奔騰を演じたり、而して新甫六月限は三九三と强調裡に休會奧地降雪に依る出廻杜絕に人氣益々硬化し十四日市況は前日大引に比し七錢方上放れて寄付き四圓台乘せとなり休日明十六日高値四、〇六を示現せるも跡歐洲情勢の惡化日本株式の暴落等環境不味に反落を來たし三、八九の安値に突込みつゝも利喰に小戾しを見せ十八日發表せられたる北滿減收豫想も既に織込濟のこととて更に影響なく僅かに出廻薄による奧地高に四〇一と睨りたるに止まり氣配冴えず三、九七と大引として閑散裡に越旬せり

（小麥）＝十一日五月限は四七五と寄付き外麥の續落を入れて製粉筋の不氣乘に軟化弱保合裡に推移し十三日大豆高も響かず暴落四、六五の安値を見せ新甫六月限は四、七四に發會し大豆の暴騰に好感を與え高値四、七六と小康商狀を呈したり然るに休日明け十六日荷凭れ氣味なる機先出廻の回復は手持筋の嫌氣拔けを呼び製粉筋の見送に十五錢六暴落安値四、五九と四圓六十錢台割れを演じたるも跡押目買人氣に下げ過ぎ訂正氣配となり外麥軟調北滿增收發表の軟材料も利かず四、七〇と反撥二十日外麥の小戾しに四、七二と睨り四、七一を大引として越旬せり

（豆粕）＝十一日四月限及現物共に一二〇、〇〇ヽ寄付き大豆高に連れ昇騰一二二、五〇〇高値を示現せるも日本市場は政局安定後尙鈍調を呈し買氣添はず產地は此の情勢に牽制され大豆の續騰を眺めながら伸惱み不勢裡に推移したり、而して十九日に至り硫安の暴落に人氣益々軟化し加ふるに突如水豆使用豆粕獎勵金分割問題惹起し油坊輸出商共に氣乘せず全く休市狀態に陷り未解決のまゝ閑散裡に越旬せり

葡國に出來るモラエス町

【東京國通】德島市に在住十七年に及んだ故親日文豪ポルトガル人ウエンセスラウ・デ・モラエス氏の靈を慰めようと昨夏七月德島の墓前で盛大な慰靈祭が行はれたが本國ポルトガルでもこの日本の好意に報い併せて故人の名をポルトガルの人々に長く記憶させようと今度モラエス町創設をリスボン市會で決定したと同國駐在隈部代理公使から廿八日廣田兼攝外相へ報告して來たこの公信によるとその町名の標札には「親日文豪モラエス氏が日本研究に獻身的な努力を捧げた結果は彼の獨創的著書に現はれてゐる、之はポルトガル文化を日本に紹介し日本文化をポルトガルに紹介した唯一の著作と稱してよい」と書かれ偉大な功績を稱へてゐる由で廣田兼攝外相からは早速リスボン市會へ宛て「此擧は日本ポルトガルの文化的[illegible]に新列車を加へるものである」との書翰を申送つた

商況欄（三月三十日後場）

金銀市況

●上海標金　引 二四七、〇

●大連金鈔　寄付 [illegible]　引 [illegible]　出來高 [illegible]

爲替相場

●大通鈔票銀大洋　引 九九、〇五　高 九九、一〇　安 九九、〇〇　出來高 一一万　現物 一〇六、〇〇

▲上海爲替　▲日本向 [illegible]

▲大連爲替　第一回賣買 [illegible]

株式相場

▲大連株式（寄・引）　五品　豆鈔　鐵鈔　東新　滿鐵　二新　鐘新　日產 [illegible]

▲奉天株式（短期）（寄・引）　滿取　東新　大新　日產　鐘新　五品　豆新　滿鐵　二新　電甲　同乙　東拓　東亞　滿興　滿毛　優先　日魯 [illegible]

各地商品市況

▲橫濱生糸（前場引・後場寄）　當限 八六〇　八二九　先限 八四〇　八五〇

▲大連麻袋　現物 三八錢

各地特產市況

●大連 大豆（寄付・引）　袋入 六、二三　六、二三　三月限 ―　四月限 六、二四　六、二四　五月限 六、三四　六、三四　六、二四　六、二四　七月限 ―

●同 豆粕　現物 一七、五五　一七、五五　三月限 ―　四月限 一七、六〇　一七、六〇　五月限 ―　六月限 一七、七〇　一七、七五　七月限 ―　八月限 ―

●同 豆油 [illegible]

新京取引所市況（三月三十日後場）

現物（一石値段）（寄・引・出來高）　大豆 九、三五　―　一車　高粱 ―　―　小豆 [illegible]

●哈爾濱 大豆・高粱・小麥／●神戶 豆粕　三月限～八月限 [illegible]

第三回決算公告

昭和十年十二月卅一日現在 貸借對照表

株金、法定積立金、社員退職給與積立金、配當平均準備積立金、特別積立金、特別資金、償却引當金、社債、未拂金、社員身元保證金、受入保證金、共濟勘定、假受金、前年度繰越金、本年度利益金、合計 [illegible]

利益金處分

本年度利益金、前年度繰越金、合計利益金 之ヲ處分スルコト左ノ如シ　法定積立金、社員退職給與積立金、役員賞與金、株主配當金（年六分ノ割）、配當平均準備積立金、特別積立金、翌年度繰越金 [illegible]

昭和十一年三月　新京特別市大同大街大〇一號　滿洲電信電話株式會社

取締役總裁 山內靜夫　取締役副總裁 三多　取締役理事 井上乙彥　取締役理事 前田直造　取締役理事 西出猪之輔　監査役 西山左內　監査役 范培忠　監査役 八木聞一

追而監査役西山左內氏、范培忠氏、八木聞一氏ハ任期滿了ニ付改選ノ處白鋸鐸氏、片山茂勝氏、中川增藏氏當選

東滿

民會本年度豫算
總額十萬七千四百圓
教育費一萬三千圓の增加

【吉林支局發】課税權の移讓を前にして其成行きを注視されて居る吉林居留民會の本年度豫算は二十七、二十八日二日間に亘る議員會の審議を經て漸く其成立を見るに至つた其內容は左記の通りで經常臨時の兩部を合した一般豫算總額は十萬七千四百八十六圓に上り昨年度に比しては三萬二千餘圓の大增加を來してゐる而して之れが增加の原因としては教育費、衞生費、補助費豫備費の膨脹と火葬場の增設費が數へられ特に教育費に於て昨年度より一萬三千餘圓と云ふ著しい增加を示したことが注目を惹ゐて居る

△歲入　一〇七、四八六圓

經常部	
公費	六二、八四九
補助金	三〇、〇〇〇
教育課金	五、五八六
手數料	五〇一
使用料	一、一一五
雜收入	四〇〇
臨時部	
前年度繰越金	二、八〇〇
過年度賦課金	五〇〇
一般寄附金	二〇〇

△歲出　一〇七、四八六圓

經常部	
教育費	六〇、一一五
衞生費	七、五五〇
事務費	一二、四八二
會議費	一五〇
當地火葬場費	一、九八八
救助費	二〇〇
補助費	一三、二六〇
積立金	五四五
雜支出	二、五〇〇
豫備費	五、六九六
臨時部	
火葬場增設費	二、五〇〇
民會整理費	一、〇〇〇

吉林商埠地內の第一期區劃整理
決定、豫定工事大要

【吉林支局發】一昨年以來省市合作の下に進められつゝある吉林商埠地內十七萬三千平方米に亘る第一期區劃整理は愈よ本年度を以て完了を見ることゝなり、解氷期を目前に控へて二十七日より開始された南大路の鋪裝工事を皮切りとして鐵路局前の新道路、五緯路、三緯路、八緯路、二緯路の鋪裝及延長工事が續々と開始されることゝなつたが其大要を擧ぐれば

△決定工事

南大路＝人車道を區別し車道は基礎をコンクリートに表面を乳劑鋪裝とす、工費約五萬圓期限七月十五日、大連蔦井組請負

路局前＝鐵路局前より料亭「後一」裏を經て蓮花泡に通ずる三十五米道路にテルフォード鋪裝を施し人車道を區別す、工費約一萬圓期限六月三十日、撫順田中組請負

五緯路＝現在出來上りたるものにタールを以て再鋪裝し人道には砂利鋪裝をなす工費約一萬五千圓期限六月十五日、新京生駒組請負

△豫定工事

五緯路＝博多屋橫より吉林神社橫を經て日清ホテル前に出る延長一三五〇米幅十一米の新通路にセメントマガダム鋪裝をなす、豫定六月より八月末迄

三緯路＝領事館南より吉林神社前を經て八緯路に繫る延長四四〇米、幅十一米の道路にコンクリートを基礎としてアスファルト乳劑鋪裝をなす、豫定七月より九月末迄

八緯路＝鐵路局前より一直線に五緯路に至る延長八二五米、幅二十二米の新道路を建設し、人車道を區別して車道はコンクリートを基礎とし小石塊鋪裝を施す、豫定四月より八月末迄

二緯路＝南大路より緯五路を經て日本寮前に至る延長五〇〇米、幅十五米の道路にコンクリート鋪裝をなす七月より九月末迄

その他＝六緯路及七緯路の改修に就ても目下計畫中にて近々具體化する筈である

建築資料展覽會
四月十一日より開催

【吉林支局發】躍進途上にある、當地土建界の本年の活躍は相當見るべきものがあることを豫想されてゐるが、今回此狀勢に一層の拍車を加ふべく日滿同業者發起の下に市政公署、商工會議所、實業廳等の後援を得て來る四月十一日より十四日迄の四日間に亘り建築資料展覽會を民會樓上に於て公開することゝなつた之れに對し市政公署より建設都市に關する資料を出品する外、大同洋灰、裕泰號、市中の主なる關係業者二十數名より多數の出品あり、又實業廳斡旋の下に滿側各機關、省立工藝講習所、工科中學校並に滿商よりも尠なからぬ出品を見る筈で、當地に於ける最初の試みであるだけに多大の効果が期待されてゐる

吉鐵聯合分會發會式

【吉林國通】滿鐵社員會吉林鐵路局聯合分會發會式は廿八日午后二時より吉鐵會議室に於て各關係者參集盛大に行はれた

吉林協和會省聯合協議會

【吉林國通】康德三年度協和會吉林省聯合協議會は廿八日より二日間省立女子中學校大禮堂で開催されたが、第一日なる廿八日は午前九時より開會、開會の辭、國歌合唱、詔書奉讀、訓示、祝辭と午前の日程を豫定通り終了、一旦休憩午后一時再開して各處長より省施政方針及び各廳關係事項の說明あり午后四時散會引續き、廿九日も續開した

圖們延吉兩警察合併の圖們警察署開廳
明一日より機構の擴大強化

【圖們國通】治外法權撤廢、附屬地行政權の移讓等の實施を目前にし、先づ滿洲國側警察機構の擴大強化が行はれる模樣だつたが果然當地圖們に於ては、從來の滿洲側檢察たる延吉縣第八區警察署と圖們國境警察隊とが合併し、一元化せる機構の下に、國境警察事務と行政警察事務の兩方面を擔當する事になり、明四月一日より名稱を「圖們警察署」と定めて開廳の運びとなつた、右に關し二十五日延吉に於て、省公署關係者と特殊警察隊長との協議會あり、圖們よりは國境警察隊長福田繁藏氏出席したるが、更に福田隊長は合併開廳の細目について民政部と打合せの爲廿七日新京に向つた、圖們側では氏の歸任を待ち四月一日圖們劇場に充當して、延們各警備機關々係者を招き其參列の下に盛大なる機構改編並に開廳式を擧行する事となつた

鐵路愛護週間
圖們警務段で實施

【圖們國通】圖們警務段で解氷期に於ける匪賊其他反抗分子の策動を制壓し、鐵路愛護地帶をして眞に列車運行中の完全なる防護壁たらしむる目的の下に三月末日までを鐵路愛護週間と定め各愛護村より一日一回は必ず所轄愛護區と連絡すると共にその各自の擔任區間の鐵路並に自動車路の巡察檢分を勵行せしむる事となつた

朝鮮

保健衞生的見地から工場取締法制定
當局成案を急ぐ

【京城支局發】勃興期にある半島の產業助長の見地から朝鮮に工場法の施行は時期尚早とされてゐるが警務局では刻下の機運に鑑み年々增加する工場從業員の保健並に衞生方面の施設を考慮し工場取締法規制定の必要を痛感してをり池田警務局長も過般來數次に亘る京仁地方の工場視察で特にこの感を深めたものゝ如く愈よ事務當局をして該法規の制定を急がしむることゝなつた模樣で既に諸般の調査準備に進められてゐるので比較的速かに成案を得た上公布を見るのではないかとされてゐる

從業員百人以上の工場
全鮮七十五ヶ所

【京城支局發】前項工場取締法規制定の曉これが適用の對象となるべく見られる工場で從業員百人以上のものは全鮮で七十五ヶ所によつてゐるがこれ等諸工場の從業員は男子一萬四千六百、女工一萬七千四百合計三萬二千名で女工の多いのは紡績工場の大規模のものが多いためである、而して女工の年齡は二十才以下が大部分を占め中には一日の勞働時間十一時間に上る工場もあるか勞働時間の十時間を超えるものに對しては從業員の健康保持の見地から當然取締法規を適用してその制限を行はしむるものと豫想される

朝鮮體育協會役員總會

【京城支局發】朝鮮體育協會本年度定時役員總會は二十八日午後一時より總督府第二會議室において渡邊會長（學務局長）以下各道體協代議員、本部役員等約三十名出席、會長の挨拶があつて後十年度事業會計報告、規則改正、役員選擧を行ひ引續き左の案件を附議した

一、全鮮野球聯盟加入の件
一、十一年度豫算
一、朝鮮神宮奉贊體育大會開催期日
一、第十一回國際オリンピック大會出場朝鮮代表選手決定の件
一、同大會に技術視察員派遣に關する件

瓦房店小學校上級學校合格者

【瓦房店支局發】瓦房店小學校では本年度上級學校入學志望者に對し準備教育の地獄的惡例を廢止し正々堂々として理想教育を以てしたが好結果をもたらした模樣で本日迄に確定せる各學校入學者を示せば左の如し

▽旅順中學校＝雪本朋夫、森田正彥、庵原宏、兒玉潔、盛嘉夫
▽大連工業學校＝小泉重忠、松尾新八、三木和夫、世良穎滿
▽鞍山中學校＝池田光男、武藤晃一
▽奉天中學校＝葉山剛治
▽旅順高等女學校＝井上貞子、渡邊節子、廣谷ユリ子、雪本伸子、二方美代子、宮崎あや子
▽羽衣女學校＝大石ウヤ子
▽大連女子商業學校＝安生百合子

北滿

忠靈塔を中心とする齊市の公園計畫
先づ附近一帶の植樹補飾工事

【チチハル國通】昨秋上棟式を擧行したチチハル忠靈塔を中心とする公園計畫は目下種々研究されて居るが、本春解氷期を待ち忠靈塔附近一帶に植樹補飾工事を行ふ事にこの程決定した、これが爲め當地實業廳ではこれに要する各種樹苗二萬六千本を購入、近く到着を待つて植込みを行ふ筈である、右忠靈塔補飾工事の完了と植樹計畫完成の曉には英靈を祀る忠靈塔を中心の小公園が實現する譯である

松花江開航來月廿日頃
今期の特產出廻り豫想

【ハルビン國通】松花江開航は例年より稍々遲れて來月廿日頃で、漸次沿岸に堆積されて居た特產のハルビン出廻りを見る事になつたが、航政聯合會當局の豫想に依れば今期の大豆、小麥の出廻りは次の如し

△現在々貨（單位キロトン）
大豆　八三、五四一
小麥　四五、一八八

△既發送
大豆　三八、九二八
小麥　六八、七三六

△陸路既發送
大豆　四、七一三
小麥　一、四三二

△今後の出廻り豫想
大豆　五四、一一五
小麥　三〇、九六四

興安四省の概況
並に行政組織大要（一）

興安四省は蒙旗の歷史的沿革に鑑み創設された特殊的統治區域で康德元年十二月一日を以て蒙政部制施行下に特殊行政を行つてゐるが、爾來蒙政部では銳意管下四省の行政組織を調整し來つた結果、略々其の形態も整つたので三月廿五、六兩日に亘り第一回の省長會議が開催され今後の蒙旗行政の根本方針確立に資した、左に四省各省長より右會議に於て報告を行つた各省概況並に行政組織の大要を略記する

興安南省

一、面積及人口

興安南省は滿洲國の西端部に位し東は龍江省及び奉天省に接し、西は興安西省及び察哈爾省に連る、南は錦州省に接し北は興安東省及び龍江省と境す、本省の面積は七萬九千廿一平方粁、興安全省の約二割を占める、康德二年末に於ける本省の人口は六十萬八千六百餘人にして內蒙古族三十一萬人、漢滿族廿九萬人、朝鮮人二千五百人、日本人一千人女百人に對し男百廿四人の比率を示してゐる

二、地方行政

康德元年十二月一日國內地方制度の改革により本省は從前管轄せし科爾沁左翼、前、後、中、同右翼前、後、中各旗及び札賚特の七旗に新設の庫倫旗及び從前奉天省の所管たりし通遼縣を合し八旗一縣を管轄す旗行政の監督は第一次を本省に於て、第二次を蒙政部に於て行ひ縣行政は第一次を大省、第二次は依然民政部之に當つてゐる、省公署に三廳（總務、民政、警務）、七科（總務、經理、地方、勸業、文教、警務、保衞）を置き旗公署は總務、內務、警務の三科、縣公署は總、及び警務、內務、財務の一科三局を以て組織されてゐる

三、財政

省公署の所要經費は總て國庫支辨にして康德三年度豫算額は二十七萬二千二百八十七圓である元來蒙旗の財政は極めて紊亂し公私經濟の區別の明かでなかつたが、建國以來旗行政の整理に力を用ひ公私經濟の區分を明確ならしめその觀念的方面も漸次改まりつつある、康德三年度管下八旗の豫算總額は歲入合計二百二萬八千七百五十六圓、歲出合計二百九十五萬三千五百九十圓にして差引歲入不足六萬六千八百六十圓は國庫より補助されてゐる、各旗歲入の主なるものは錢租（蒙租）と稱する開放蒙地より徵收する財產收入にしてその康德三年度收入豫算額は八旗合計百十二萬五千圓でその內四十五萬圓は國庫に納付されてゐる

四、法務及警務

南省の司法事務は大同二年十月制定せられたる興安省司法事務暫行辨法に依り第一審は旗長審判官となり、第二審は省長及び事務官一名を以て合議庭を構成し省長之が庭長となつて審判す、第三審は最高法院之を掌る、警察制度は大同元年十二月公布せられたる興安警察局官制により省公署直轄の警察局を開設し管內樞要の地に警察署を置き警察事務執行の簡易公正を圖ると共に各既自衞團の整備強化に努め主として地方治安の確保に寄與せしめたり康德二年九月の警務機構改革に伴ひ從前の警察局を省公署警務廳に改組し警察署を廢止して警察官吏は各旗自衞團丁を一體となし旗警と改稱して旗內各努圖克（縣に於ては區）に分散配置し以て警察機構の單一合理化を圖り旗長の警察權を強化した

五、教育及び宗教

教育制度は漸くその確立に着手したるのみで、管內學齡兒童も百人に對し就學せる者僅かに二十七人に過ぎず、一般に教育程度は低く無學の者が多い、然し都會地に於ては相當就學率高く近時著しく修學熱が高まりつつある、教育機構としては旗立小學校四十一公立小學校八十四、私立小學校十、私塾二百十八あり、就學兒童數は一萬四千百二十三人、中等學校としては通遼の男女各師範中學校（生徒數二百六十四人）の外東科中旗立實業學校あり蒙古人靑年五十名を教育中である康德三年度教育費は各旗合計約十六萬圓で蒙政部編纂になる初級用讀本も既に出來上つたので今年度新學期より一齊に之を使用する事となつてゐる、宗教としては省內ラマ廟數百八十三あり、ラマ僧八千二百二十二人にして省內蒙古人男子千名に對し廿七人の僧侶を數へる

家庭

春の美粧に 指先の手入れを ——忘れずに！

▽……マニキュアの知識

春はお爪から——キモノが薄くなりますと指先の汚さが目立ちます、今迄マニキュアをしなかつた方も、この春からおはじめになるやうに少しくわしいマニキュアの順序をお話してみせう。

（一）先づ微温湯に石鹸をとかして手をよく洗ひます、この時爪の間は特に念入りに爪ブラシュを使つて洗ひ、乾いたタオルで拭きます。

（二）次に、お好みの形に爪を形づけるやう、ファイル（やすり）をかけます。この時出來るだけ爪の兩端をきつちりとけづることが必要です。

（三）それから微温湯に石鹸をとかした中へしばらく指先をつけておき、爪際が柔軟になつたら乾いたタオルで拭きます、オレンヂステックに脱脂綿を卷き、化粧水か清水をつけて爪際につけます、かうしませんとせつかく石鹸水で柔軟になつた指先が固くなつて了ふからです。

（四）次にネイルプッシ（爪おし）をたてて爪際をおしますとキイにへきがおせます。爪と肉の間にある甘肉、これは小型のキューテイクルシエヤズ（ハサミ）で切ります。この時出來るだけ下側の方からハサミを立てて切つてゆきます。又兩横は眞中よりも注意深くキレイにいたします。

（五）この次に又紙ヤスリをかけて爪の先をなめらかにし爪際をオレンヂステックの後でおします。これでお爪はすつかりキレイになりますが、こんどはパウダーでみがくか、ネイルポリッシユ（エナメル）をつけます。エナメルを塗ります時はあんまりたつぷりつけず、爪際の半月形とのばした爪の先とを殘して平に塗ります。

（六）又、和服の場合、自然の光澤を爪から出す爲にパウダーでみがきます。この時は最初赤いクリームを塗つてバッファーでみがき新しいバッファーでいま一度みがき今度はパウダーをつけ、指の腹でマサッしておきます。

華やかな顔觸れ 豪華な番組！

滿洲託兒所の慈善演藝大會

二日目は蓮香班、雙玉班、艶春院、大觀樓等附屬地滿人花街妓女の歌謠に扇芳亭、すみれ、小川席。やよい、ミス東洋、曾我酒家、千鳥、富士その他花街、ネオン街の人々に師匠連の出演であるプログラムは左の通り

▲二日目（四日）▼

▲紅雁稍書、說大鼓、蓮香班荷花、鈴花
▲劈山救母、說大鼓、雙玉班三立、滿堂
▲荊州、黃金台、西施女、艶春院、全順、金順、美娟
▲小唄「三千歳」立方扇芳亭たから、レコード
▲小唄舞踊「旅の人形師」すみれ、小川席、花千代、藤間勘多郎師振付、杵屋十七郎師後援
▲新舞踊「お染」立方小川席千丸、藤間勘多郎師振付、杵屋十七郎師後援
▲童踊「ニヤンく踊」やよい、大橋のり子孃、藤間勘多郎師振付
▲「壺坂靈驗記」澤市清美、お里陽子、雅九郎よし子、觀世音叶子、浄るり前畑氏、三味線益田仙糸師、ツレ引小太郎
▲「藤娘」立方田中内、町子、唄萬龍、若丸、小照、茶良助、三味線小艶、勇、巴、五郎
▲「梅の榮」立方藤井内、はがき、小太郎、地方德千代、千代吉、千太、幾松、ひろ香、百々代
▲小唄舞踊「鳥追ひお市」すみれ内花千代、藤間勘多郎師振付、杵屋十七郎師後援
▲清元「花がたみ」立方扇芳亭、たから、唄笑香、京千代、笑丸、三絃てるは、から子、照若
▲探險山、罵殿、珠簾寨、大觀樓、大桂、喜鈴、月紅
▲「秋の色種」立方小野喜代秀師、三味岡安喜代枝師、開花小仙、岡安喜代登記師、開花辨江、岡安喜代艶師
▲新舞踊「お夏」立方すみれ千丸、藤間勘多郎師振付
▲小唄「色氣ないとて」立方扇芳亭、たから、唄てる蝶、絃笑香、藤間勘多郎師振付
▲時代劇「雪の夜話」原作小山內薫、演出尾崎忠、父稻葉、金太郎禮子、娘昌子、早苗、捕吏麻里
▲「鳴戸」お弓富士高田氏、お鶴山本ます子孃、妙天國友政子、妙林西山敏子、十郎兵衞ミス東洋前畑氏、浄るり田中相生大夫、三味線田仙糸師

（寫眞は千鳥の千吉、ひろ香、はがき、曾我酒家の萬龍、若丸、〆治、茶良助、勇、小艶、扇芳亭照若、小千代、ミス東洋清美、サロン富士の澄子、早苗、昌子、禮子、西山敏子、國友正子等の人々）

今日の話題

△大元帥陛下大演習御統監の始め明治天皇が尾張三河地方の大演習に行幸遊ばされましたのは明治二十三年三月末のことで同三十一日には夜來の雨をいとはせ給はず御愛馬に召されて御野立所に進ませられたのでございました。
△我が鐵道國有法は明治三十九年のこの日公布されました。
△ロンドンのブルックマン放送局でテレビジョンの實驗に成功したのが六年前の同じ日（西暦一九三〇年）でありました。尤も大きさは葉書の半分位、ひどくちらついて不明瞭だつたと申します。
△今日が誕生日に當る人にフランスの哲學者デカルト（西暦一五九六年）オーストリアの作曲家ハイドン（西暦一七三二年）ロシヤの文豪ゴーゴリ（西暦一八三六年）等があります。

お料理獻立 筍料理四種

春のたのしみの一つとして皆樣のお食膳を賑はす筍もそろく出て參ります。けふは筍一本を根もとの硬いところも穗先きの皮の部分もそれぐ適當なお料理にして無駄なく頂くやうに次の四種を申上げませう。

一、筍と里芋の田樂
【材料】（五人前）筍中位のもの一本（皮つき百匁位）里芋百匁、下煮用として醤油、砂糖、少々、田樂味噌、甘味噌五〇匁、砂糖大匙一杯、醤油少々、片栗粉小匙一杯
筍、里芋も五分角に切りまづ里芋をゆで筍を入れ味をつけ下煮して竹串にさして燒き、田樂味噌を塗つて燒きます。

二、筍と椎茸の寄せ煮
【材料】（五人前）椎茸五匁、筍皮つき百匁位一本、豚肉十匁（これはだしとして味付に用ふのですから硬くて差支へありません）ラード又は胡麻油二勺、酒大匙一杯、醤油大匙一杯、砂糖小匙一杯、スープ二合、片栗粉少々
椎茸、筍の短冊切り豚大切れを油で炒めスープを加へ味をつけ鉢かボールにつめて蒸します。

三、筍蒸し
【材料】（五人前）筍のかたいところ三〇匁、蒸し汁用、卵二つか三つ、煮出汁卵の二倍程、片栗粉小匙一杯、鹽少々、調味料少々、砂糖少々、小蕪葉つき十ケ、鶏肉又は白味魚肉五十匁、人參三十匁
筍の根を卸し卵、煮出汁、片栗粉、鹽、調味料、砂糖を合はせ小蕪と人參のゆでたものと鶏肉薄切をお醤油に浸したものを盛つた上からかけて蒸します。

四、筍の皮と若布のぬた
【材料】（五人前）新わかめ十匁筍のあま皮一本分白い軟かいところ三ッ葉又は芹五匁
辛子酢味噌材料　味噌十匁、辛子小匙一杯、砂糖大匙一杯酢二勺—三勺
筍の甘皮に熱湯を通しせん切り、わかめの一寸切、三ッ葉もゆでゝ細かに切り一寸酢をふり辛子味噌を合せて和へます。

物品整理は科學的に！

▽……女中さんのために

◇女中さんの仕事が關與する限りに於て、その物品なり道具なりの一覽表を作つて置くと、能率の點から云つても、また仕事を手順よく進める點からいつても便利だと思ひます。

×……×

◇我國の家庭では、さがし物にどの位の勞力をムダにしてゐるか分りません、殊に出がけになつてから足袋が見つからないとか、ネクタイがないとかいつて騒ぐことがよくありますが、あせるから益々見つかるものも見つからなくなるばかりです。

×……×

◇こんな場合に、若し品物の在り場を明細に書いた物品一覽表があるとしたら、少しもまごつくことはありません。

×……×

◇これをお子さんの物とか御主人のものとか、台所のものとかに分類して體裁の惡くないやうな所に貼つて置きますと、さがす手間がはぶけるのは申すまでもなく、仕事が手順よく運び、疲勞を少くすることも出來ます。

×……×

◇今の女中さんは昔と違ひますから、物事を科學的に整理する樣心がけねばなりません。

（1）オオノラーヲ持テ來テクレ！
ナアニ ラフサン
（2）シヅカニ
？
（3）今晩成金ノギルトン夫人ガ來ルカラ
又例ノ奥ノ手ネ ラフサン
（4）ウマクヤツテクレヨ
デキルダケウマクヤルワ

吉右衛門、宗十郎の 舞臺劇「熊本城の清正」

演劇連夜三種の"第三夜" 原作は吉田絃二郎

後七・三〇 東京より

第一、圖書湖瀟湘亭の場
第二、熊本矢倉の場
第三、同鐘樓の場

＝配役＝

役	配役
加藤肥後守清正	中村吉右衛門
清正奥方二葉	中村時藏
同子息熊之助	坂東又太郎
同　熊若	市川男女丸
同　千代丸	市川たかし
狹渡民部	市川九藏
斑鳩平次	中村吉之丞
庄林隼人	中村七三郎
兵藤三左衛門	市川團之助
飯田九郎太夫	市川染五郎
佐藤治右衛門	中村吉之進
木村早苗之助	中村又五郎
西染千之助	中村正太郎
遠矢兵左衛門	中村吉兵衛
森作右衛門	中村獅好
美須觀太右衛門	中村吉六
井上大九郎	市川門三郎
小姓南條三郎助	澤村田之助
板倉の臣太田三郎右衛門	澤村千鳥
板倉伊賀守	澤村宗十郎
其他　清正の家臣及板倉の臣大勢	
長唄囃子連中	杵屋寒玉社中

家康と秀頼との二條城の會見を無事に濟ませて一重荷下しての歸國の途、船中で熱病に罹つた加藤清正の容態は捗々しくなく、剩へ不吉の傳へある神文の鐘を城中の矢倉に安置せよとの命があつた德川幕府から見て、清正は目の上のこぶであり清正自身もそのことを充分知つてゐたので、幕府が猜疑の眼をもつて清正の行動を監視しても乘ぜられないやうに人一倍努め、如何なる犧牲を拂つても幼君秀頼を守り立てる決心だつた。密偵狹渡民部から清正の病重しと聞いた幕府は實狀を探らせるため伊賀守を使したところ重態の筈の清正は勇氣凛然たる有様、大御所の口上たる秀頼を大阪城以外の地に移す件の同意を求めると大阪城守護を自分に任ぜられ、秀頼退去と同時に將軍の公達の一方を清正に預けられたいとの決然たる返答である。伊賀守は清正の氣魄に打たれた心地して立歸つた。一先づ伊賀守を歸したもの、刻々と迫つてくる死期を見つめながら、落目にあへぐ大阪の運命を想ふと清正の胸はかきむしられた。清正は小姓南條三郎助の面ざしが秀頼に似通つてゐるのをせめても幼君に見立て、血涙とともに懷しさ、痛しさ、苦衷の心を述べ、伊賀守への苦肉の策とはいへ、大御所のあさましい企に同意するかともとれる誓ひをしたことを恥ぢ家來の止めるのを振り切つて忌はしい傳へある鐘を撞いたその鐘の一響ごとに、我が所領五十餘萬石の後を絶つても大阪に盡さうとする清正の誠忠心がこめられてゐるのだつた。

"夜のあめ"外

後七時廿分より 哥澤（東京）

唄……歌澤 寅宙
三味線…歌澤 寅小滿

一、土手の三本松　平山蘆江作詞　歌澤寅右衛門作詞

本調子「土手の三本松（合）一つは日傘、二つ（合）ふるふる（合）しぐれの傘よ、なかの三度笠、清十郎ぢやないか（合）今日も暮れたといふつげ島の（合）鐘がなるのにこちむかしやんせ、なんなんお夏がこんこんこの世に呼んでゐるぞえ（合）さりとはつれなや（合）清十郎笠

二、夜のあめ

「夜のあめ、もしや來るかとたゝみざん、かみでかへるのまじなひも、むしが知らせてともし火の丁子も飛んだ今時分、氣まぐれざんすエ、エ、ぬしのこゑ

"俚謠"

後七時より 東京

一、高松ノーエ節　百々吉・外

高松名所を知らないお方に高松名所を知らせたい八栗屋島に壇の浦に栗林公園ノーエ
玉藻の浦には月夜からすがカアーく屋島山上を知らないお方に屋島山上を知らせたい獅子のれいがんたゝみ石だんこれいにはノーエかわらけとばしが以津もだへずにヒューく
栗林公園知らないお方に栗林公園知らせたい大富士小富士にあやめ池に赤橋あたりにノーエ坊ちやん孃ちやんが緋鯉眞鯉にフウーく
小豆島寒霞溪を知らないお方に小豆島寒霞溪を知らせたい素面瀧やら遊仙橋通天窓にはノーエ名物お猿がオテテツナイデキヤアく
鹽の江溫泉知らないお方に鹽の江溫泉知らせたい櫻千本萩の寺二本杉にはノーエ男瀧女瀧に大鮎小鮎がピン
讃岐金比羅知らないお方に讃岐金比羅知らせたい神事場鞘橋高燈籠石段登りてノーエ沖をのぞめば追手に帆あげてシユウラシユッく

二、玉藻節　小久

ゑびすさなだはと高松の沖よ寶入り來る寶入り來る大槌小槌があるわいな情玉藻の松ヶ枝ありて女木と男木との女木と男木との深みどり瀨戸の島々かすみにきへて戀の高松戀の高松夢のように津田や鶴羽の常盤の松は目出度くで根を延す讃岐鹽の江溫泉の名所月のながめは月のながめは萩の寺引手あまたの三味島瀨島あれは銅鋼あみ主の出船を送つたあとはたのむ金びらたのむ金びらぞーず山浮たこゝろの金びらたるは沖の鷗に沖の鷗に身をまか

三、讃岐踊　もとめ・外

讃州讃岐の名所は八栗屋島に寒霞溪琴平さんに善通寺他に無いぞへ栗林讃岐高松藝所何の街通つてもツンテンツンく
ネンゴゲに踊つてイキマイヨ
ホンドリ踊つてオイデマイヨ
一、エー玉藻浦渡月夜の瀨戸に浮かれ狸の腹つゞみ
二、エー屋島時雨れて八栗は晴れて壇の浦ではうすぐもり
三、エーホンにしほらしあの寒霞溪誰れを見初めて赤くなる
四、エー登る石段その數よりも誼る金比羅人の數
五、エー戀の栗林この世の淨土生きた菩薩と蓮の花
六、エー娘可愛や笈づる姿廻る讃岐の花盛り
七、エー的は扇かねらいは姫か那須の與市が梓弓
八、エー屋島山からかわらけ投げりや落ちる所が壇の浦
九、エー戀の合圖か金比羅さまの消へて又つく高燈籠
十、エー聲も高松艪拍子揃へ波の音頭で船が出る

けふの番組

（M・T・C・Y 新京放送局）卅一日（火曜日）

◇朝◇
六・三〇 建國體操（滿語）
六・五一 ラヂオ體操（東京）
七・一〇 氣象通報（大連）
七・一五 家庭向滿語短期講習
八・一〇 朝の音樂（レコード）（大連）
一・管絃樂 公園街幻想曲（レコード） 原田龍一
二・紺紫色 ボーン、ホワイトマン管絃樂團
三、シュバートの旋律に據る幻想曲 トム、ジョーン管絃樂團
八・三〇 經濟市況（東京）
九・〇〇 早晨演奏
九・二〇 料理獻立（奉天）
九・四〇 經濟市況（大連）
一〇・〇〇 家庭講座（奉天） 新入學の子女を持たれる御家庭に（三） 奉天加茂小學校長 池上 等
一〇・二五 家庭メモ
一〇・三五 經濟市況（大連）
一〇・四〇 經濟市況（東京）
一〇・五九 時報（東京）
一一・四〇 ニュース（東京、引續き新京）

◇晝◇
〇・〇一 經濟市況（大連、引續き新京）
〇・二〇 晝の演藝 春の流行歌（六）（レコード）
一・東京七不思議 伊藤久男、外
二・春のむすめ 久富晴男
三・逢ひに來るなら 小梅
四・ハワイのセレナーデ 灰田勝彦
五・憧れの島 四家文子
〇・四〇 建國體操（滿語）

一・〇〇 白天演藝（奉天） 覇王別姬 清唱 胡琴 岳長奎 二胡 孫長富
一・二〇 ニュース（滿語）
一・三〇 日本講義（滿語） 關於日本之社會事業（三）（奉天より） 崔世鈞
一・五〇 下午演奏（大連）
二・〇〇 經濟市況 日用品値段（滿語）
二・五〇 經濟市況（東京）
三・〇〇 ニュース（東京）
三・三〇 經濟市況（大連、引續き新京）
三・五〇 ニュース（鮮語）
四・三〇 ニュース（鮮語） 引續き演藝（鮮語）
四・五〇 ニュース（英語）
五・〇〇 子供の時間（大阪） 音樂物語 ハイドン 大阪放送童話研究會
五・二〇 コドモの新聞 村岡花子
五・二五 氣象通報、番組豫告（東京）

◇夜◇
六・〇〇 ニュース（東京）
六・二〇 今晩の番組 官廳公示（滿語）
六・二五 政府公報
六・三〇 國民の時間 新市政の實施に就て 民政部地方司總務科長 岡本茂
七・〇〇 俚謠（東京）
七・二〇 歌澤（東京） 一・土手の三本松 平山蘆江作詞 歌澤寅右衛門作曲 二・夜のあめ 唄 歌澤寅宙 三味線 歌澤寅小滿
七・三〇 舞臺劇（東京より）（演劇通夜三種（第三夜）） 熊本城の清正 吉田絃二郎、作
八・三〇 時報、ニュース（東京）
八・四五 ニュース、經濟市況 引續き 氣象通報、番組豫告（滿語）
九・〇〇 舊劇（奉天） 別窑 新亞集團戲劇部 郭聖岩 外九名
一〇・〇〇 北滿の時間（哈爾濱）

學藝

新京ラヂオドラマ研究會
放送用脚本

ラヂオ・コメディ
春は來れど（全三景）
原作・鰮木沙禮

登場人物
若きサラリーマン　神田
同　本鄕
美しい少女　花子
同　鳥子

第一景

▲サラリーマン神田の室
（レコード）
春が來たのに、この頃日頃何で晴れない、眼ひやら
—（遠くから漸次近く）神田
神田、ゐるのかゐないのか
（扉をあけて）オヤ、ちやんとゐやがる癖にだまつてゐやがる、變な奴だな、オイ神田（どやす）
—（眠りよりさめたる如く）
おゝ、本鄕か。
—どうしたんだよう？春の宵しかも土曜日の晩だと言ふのに君、しつかりしろよ。机の前に坐り込んで不景氣な面をして何ちう有樣だヨオイ
（唄）あなたと呼べばあいヨと笑へる
山の木魂の愛しさよ
アナタ、ナーンだい
空は青空
—（とつぜん）本鄕ッ
—あ、びつくりするぢやないか。何だい一體
—いゝとこへ來てくれた。
—何ちう挨拶ぢや、それは。追剝に出合つたお姫樣みたいなこと言ふなよ。
—いや。僕は今。悩んでゐるんだ
—悩む？何を悩んでるんだい
—何を悩んでると思ふ。
—落ちつくなよ。さあ何だらうなあ、惡い病氣か、借金か、一張羅が危急存亡の瀬戸際に立つて……まあ、その邊だが
—いや、もつと高尙な存在に對してなんだ。
—勿體は後にせい。早く始めろ。
—このごろ、斷じて一人で考へてゐるんだが、春が來たつて、こんな生活ぢや實際意味ないからね。俺の胸は立腐れ櫻の木みたいに、中は蟲で一杯なんだ。
—ふ、ふん。
—おい、本鄕、俺も三十二歲だからネエ。
—俺は三十四だ。
—とに角、こんな甘く悩ましいような春の宵を眼のあたりに見ても獨りでは寂しいよ。これが彼女と二人だつたらどんなに生甲斐を感じるだらうかとそればつかり考へてるんだ。
—そんな胃の藥みたいなのが君ゐるんか。
—ん、ゐるんだ。とにかく淑やかで、お俠で色が白くて背がすらりとしてゐるが、弱氣で明るくつてネンネーみたいな。
—どうも難かしいが、シャンか
—何しろ君
—もう、え、え、そしてその令孃はどこにゐるんだい。そんなにやきもきしてる隙には〃ネ、結婚して下さい〃〃O・K〃てなことで一日も早く〃あなた〃と呼べば〃〃つてことになつたらいゝぢやないか
—そりやあ、いゝんだけど、そんなこと言つて相手が承知してくれるかしら
—アレッ、ぢやあ本鄕……はゝあ分つた、はつきりした……片思ひと言ふ奴なんだね
—そうなんだ（と沈み込む）
—おい悲觀するなよ。一つ俺が友達甲斐に骨折つてやらうよ。え、相手は何物だい深窓の令孃か、會社のタイピストか、それとも
—先月のサラリーの夜、二人で行つたカフエー・エチオピヤの女なんだ。
—カフエー・エチオピア？……あゝぢや君の傍にくつて、君の口ん中へ、鰯を投り込んだり林檎を養つたりしてゐたあの子だろ、えゝと何とか言つたつけな、あの色氣のある小娘は……そうだ花子だよ。
—ちがふんだよ。あれぢやないんだよ僕の言つてるのはあの君と並んでたトリ子
—えつ、アチチチ、おい氣をつけろよ、煙草で手燒きやがつた。……ト、トリ子を嫁にしたいと言ふのかい。
—ひとつ頼むよ。君とは大分親し相だから、君から言つて貰へたら屹度うまく行くと思ふんだ、ネ、本鄕、友人の誼みに甘えて、一つたのむよ。
—弱つたところに甘えられちやつたなあ、あれは君
—そ、そこを一つ枉げて頼むんだよ。コ、この通りだ、拜む。ねエ、本鄕（夢中で茶碗とまちがへて一口）……アッ、インキをのんぢやつたあ。

第二景

▲カフエーエチオピア。
ジャズと唄聲、男、女、メンバー等の聲
—弱つちやつたねえ
—つまんないことを頼まれたもんね。
—それが君、とても凄い思ひ込み方なんだ。首でも縊りかねない有樣なんだからね
—えらい、惚れ方ね
—あれ、君に惚れてるんだぜ
—だからさ。…妾の方では困つてるんぢやないの
—生れて三十余年、僕もこんな困つたことはない
—ほんとにねえ（考へ込む）
あいゝことを考へついたわ
—どんなこと？、
—あのね、一寸、耳を借してよ
—ん、…ん、ん、ホ、ウ……
花子が、へえ、そいつは可哀想だ。ハハハハ、んん、なるほど、ふん、ふん、ふん、ふん替玉か、ふうんそれやあ名案だ、だがうまく行かなかつたら一寸可哀想だなあ
—そんなこと仕方がないわ。この妾大丈夫だと思ふの。三月余り花ちやんつたら大變なんだからきつと喜ぶわよ……それとも妾、神田さんと結婚しませうか
—何を言つてるんだい、バカ
—ホホホ、ホぢやいいこと、ネ、神田さんの方をうまくやつてよ、ネ、うまくやらなかつたら絶交よ。
—うまく行つたら
—さうね、今月のうちに結婚したげようかしら
—そいつは有難い、やるよ。
—シッ、聲が高いわよ
—ハハハハ
—ホホホホ、あら神田さん二階から降りて來たわ。あたし花ちやんと打合せしておくからね
—O・K（女の去る足音）
—（唄）あなたと呼べば何よと答へる
山の木だまの嬉しさよ
あなーた、
なーんだい
おい、本鄕、話をしてくれたかい。
—うん、ようく君の心持を話してやつたよ。神田はやゝおつちよこちよいだが、その代り善良で、お人善しで社では上役の受けもいゝし、するから、將來有望なハズであり、そして花、いや鳥子ちやんに首つたけなんだつて……そして萬事は俺が大鼓より大きい判を押して保證するつてつけ加へといたよ
—ありがたい、持つべきものは親友だ。
—も一度言へ
—え、持つべきものは親友だ
いつか君に貸してやつた十圓は張消しにしてもいゝよ
……あ、ところで彼女の返辭は……
—こいつが又、辛棒デケんことを言ふとるんだ。
—ホウ、辛棒デケンとは
—明日午前十一時かつきりに大同公園の阿亭に待つてますから、一人で來て頂戴つて…おい彼女はネ、ライスカレイを作るのが上手でお裁縫は女學校時代に甲だつたんだつてよ。
—ホ、本鄕、ソ、ソリヤ、ほんとうかい。一人で來て頂戴つて……
—あした十一時だよ、オイ寢すごすなよ、いいか。
—大丈夫だ。さうなりやあ、今晩は徹夜だ。眠れるもんかい。明日十一時大同公園阿亭か、明日十一時大同公園阿亭だね
—その通り
—明日午前十一時〇分、大同公園のアヅマヤだね
—ウルサイツ
—ハハハハハハ、明日、午前十一時。
—（花子出て來る）何を言つてるの、神田さん。
—ウワッ、こいつはいかん
—ハッハッハッハッハ

第三景

▲サラリーマン本鄕の室
（レコード—唄）
—（時計一時を打つ）ちよいと、神田さんたち、遲いわねえ。もう一時よ。
—ふうん、この分だと、萬事O・Kなんだね。
—そうかしら。うまく行つたら二人でゐらつしやいつて言つといたのに
—とに角、びつくりしてゐるよ神田の奴。奴は君が待つてるんだと許り思つて、大同公園に出かけて行つたんだからね。
—それが妾の代りに花ちやんが待つてると來たんだからね。
—神田の奴、怒つてるかも知れないぞ。
—そんなことはないと思ふわ。怒つて歸つたんだつたら、花子さんがすぐ此方に來ることになつてるんだから、……もう一時間もどちらも姿を見せないところを見ると、此のお芝居はハッピイエンドよ。屹度よ。
—君は實に恐るべき劇作家だね。
—フフフ
—その手で男を騙してるんだらう。
—また、知りませんよ。
—怒つたのかい、鳥子ちやんネ鳥子ちやん、ネ、ネ、オヤ、（ノック）
—アラ、誰か歸つて來たわ。妾かくれてよ。ネ（隣室へ急ぎ退場）
—おーい本鄕、ゐるんかあ、開けてもいいかあ、おーい
—あゝ神田か、入れよ。
—（扉をあけ、上つて來る）こらあ
—え！あ…ハ………ハハハハハハ
—おい、ひどいぞ、ハヘヘヘハ、びつくりしたぞ俺は…
………ハハ
—ハハハハハハ、だが、花坊は。
—ゐるよ。花子さん、お入りよ。鳥子さんはゐないのかい。
—ゐるよ奧の室に、流石に君に顔合はせるのは照れ臭いらしいよ。此のお芝居の作者兼演出家だからね
—おまけに君が後見だらう。
ところが………
—言はなくとも大體分つてるO・K・だろう！花ちやんお入りよ。恥かしいことなんかないぢやないか。
—然し僕は今、却つて君ならびに君の、いや鳥子さんのトリックに感謝してるよ。思はぬ寶が轉がつてたんだ有難いよ。
—も一回
—何言つてやがんだい。そして僕は公園で花ちやんから一切をきいて、三月程も僕のことばかり思つてゐてくれたその純情
—お止しなさいな神田さん
—いや、その純情を知つた時僕は世界中の幸福を貰つた氣がしたよ。おまけにお鳥さんはライスカレーと裁縫かも知らぬが、彼女は
—編物が好きで、赤ん坊が好きだらう。
—止してよ。妾歸るわよ
—（鳥子出る）花ちやん
あら、鳥子さん、あたし
—ホホホホ、恥しがつて……
お目出度うよ。神田さん、御免なさいネも、で此より外に花ちやんの氣持をあなたに傳へる方法はなかつたのよ怒らないわね！
—怒るどころか、僕は今幸福の絶頂ですよ。有難いです僕はあの時から花ちやんの美しさや好さが事ごとに溢れて來て。
—アチチチ、おい神田、君は昨夜から二回も煙草の火を俺につけるが、之からは用心しないと、花嫁さんに火傷さしちやうぞ
—あつ、ごめん、ごめん。ハハハハ、何しろ嬉しいので春が一時に僕の方へ殺到して來る氣がして
—ハハハハハハとんだ幕切れになつたものだ。オイもうこの邊で幕にしろよ。甘つたるくてトテモ見ちやゐられないぞ。
—ホホホホホ
—ハハハハ……
—ホホホホホ
（明快な流行歌のうちにベル）
—終り—

般若心經（十二）
鹽谷壽石

文曰「是諸法空相」

早春の光あまねく輝やかに此のひろ庭にものの音もなし（寒太郎

學藝消息

△山本實彦氏近く『南支那遊記』を刊行する
△『日本及日本人』『經濟情報』四月號ともに一部削除處分を受けた
△『我觀』四月號發禁

新書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△北支概觀（眞鍋五郎氏著）デリケートな情勢に在る北支に向つて殺到する觀察旅行者のために旅行用的著作である、われわれの最も知りたいのは何か、正確な地圖と支那語の發音を示した案內書であらう、この本の附錄地圖に餘りに簡單であり本書には振假名が一つもない、これは致命的欠陷であらう、四六判一八六頁北支への航路案內、北支の鐵道その他の交通狀態は相當詳しい、天津の歡樂境にハイ・アライを拔かしイタリー・賭博を拔かしてあるのはどうかと思ふ、この如き著作として用意不足である（大連市常盤町十三、亞細亞出版協會）
△綠十字（第一〇號）遠藤博士の「結核撲滅事業に對する謬見の是正」川上博士の結核豫防の經驗、「各地の結核撲滅事業展望」「結核發病の誘因」等貴重な文獻であらう（大連市外小平島保養院內、綠十字會、二錢）
△內外經濟情報（三月十五日號）滿文誌、「觀察救濟水豆之具體對策」「日本紡績業向北華進出與其諸立腳點」上」「康德二年下半期滿洲國經濟界之大勢」等資料三篇にほか「對於撤廢治外法權之談話」郭修甫哈爾濱道裡商會調査股長の「臺灣視察團日誌」は台灣の帝國主義的發展を讚美したものである（大連市敷島町八二、日滿實業協會滿洲支部、二角）

「ポーランドの踊子」「官場現形記」本日休載

新京商工會議所 定期總會を開催
きのふ午後記念公會堂で 一瀉千里原案を可決

新京商工會議所定期總會は三十日午後三時から記念公會堂第二集會室にて開催議員側栗原正金支店長外十七名、會議所側石崎會頭、尾藤書記長等にて定刻尾藤書記長開會を告げ石崎會頭より前年度事務を左の通り報告

一、尾藤書記長（理事）就任の件—
一、定期總會開催の件—
一、正副會頭及役員選擧の件
一、日本商工會議所定期總會並日滿實業協會定期總會の件—

昭和十年十一月二十日東京にて開催の日本商工會議所定期總會に石崎會頭出席す

1、滿洲關係議案左の如し

件—新京商工會議所提出日本商工會議所常議員會附記

1、滿洲國營業税に關する件—新京商工會議所提出

2、北支開發に關する件—大連商工會議所提出（可決）

3、日滿通貨統制に關する件—奉天商工會議所提出滿洲國通貨政策確立に依り金圓國幣は等價と爲れるを以て撤回

一、正副會頭役員並に議員就任及登記の件—

一、第十九回滿洲商工會議所理事會開催の件—

1、滿洲國課税問題に關する件—本問題は日滿兩當局案と滿洲商議聯合會決議と相當軒輊あるものの如し更に聯合會として再檢討を要するものと爲せり

2、電々會社補助金に關する件—電々本社に對する豫め折衝は新京商工會議所之に當り更に商議聯合會として交渉することと爲せり

3、治外法權撤廢後の日本人商工會議所に關する件本案商議聯合會の問題として愼重研究調査の上聯合會として措置することと

せり

4、中小商工業者振興に關する件—內地反產運動の動向、滿鐵社員消費組合の自制とに關聯し其の振興策を必要とし之が對策を講究すること

一、滿洲國官吏消費組合制限品引渡に關する件—

一、第二十四回滿洲商業會議所理事會開催の件—

一、第二十七回臨時滿洲商工會議所聯合會開催の件—

一、營業税問題に關し日滿要路に陳情の件—

第二十七回商議聯合會に於ける本問題に關する決議に從ひ在新京日滿要路に陳情の爲大連、營口、安東、奉天、新京及哈爾濱六會議所代表帶同し昭和十一年二月三、四日に亘り歷訪陳情に由て得たる情報左の如し

1、營業税を收益税に改むる件

2、税制税率に根本改正を加ふる件

3、漸進期間を十年に延長する件

營業税實上標準を收益に改むるは實現性乏しく税率の根本改正も亦直に至難と爲すも課税漸進期間中に講究するものの如し猶課税漸進期間は聯合會の決議と相當懸隔あるもの之が延長は見込なきものの如し

4、滿鐵附屬地課税方針に關する件

5、附屬地外地方税は本税と同時徵收に關する件

右各事項に對し各陳情先より綜合報告を得たり

一、第二十一回滿洲商工會議所理事會開催の件—

昭和十一年二月十七日新京にて開催の商議理事會に尾藤理事出席す、其の協議事項の主なるもの左の如し

治外法權撤廢後に於ける商工會議所存續に關する件

日滿官憲關係當局並に滿鐵社員臨席の上講究の結果日滿の條約に依り日本法令に由る商工會議所存續は困難なるも畢竟滿洲國法令に依る一地域一會議所主義の建前の下の滿二部制に依る機關の設置を希望し之が具體案の研究を爲すことに申合せり

其の他內鮮滿支各地より照會に係る商取引紹介件數及文書の收發件數、及び一年間の調査事項

一、滿洲國關税問題研究會開催の件

昭和十一年自二月十四日至同月二十六日間滿洲國輸出入關税に關し各部門に分ち研究會を開き關係會員意見を徵したり

一、本期間の會議開催度數及議事件數

一、本期間中に於ける狀況左の如し

一、議員定員三十名常議員定員六名、監事定員二名、副會頭定員二名、會頭一名孰れも定員の通異動なし

一、會員、前期末一二三名處入會九名、退會一名現在一三一名なり

以上を報告說明し次で昭和十一年收支豫算案△收支五萬八千百十四圓五錢前年度實行豫算額より一萬三千五百六圓七十八錢の增加、うち收入の主なるもの賦課金二千五百圓增補助金九千五百圓、雜收入一千九百三十五圓、支出の主なるもの給與費八千四百五圓、調査費三千圓につき說明二三質問あつたが訂正することなく一瀉千里に原案を可決して午後五時頃閉會した

商工會議所定期總會

滿洲國商工會議所法に對する 最後の決議せん
來月七日商議聯合會

滿洲國商工會議所法實施に關し滿洲商工會議所聯合會は數回に亘つて新京に於て理事會を開催し大體の案が決定したのでいよ〳〵四月七日新京記念公會堂に全滿商工會議所聯合會を開催して最後の決定を見ることゝなつた

商議所新築問題 解決せん

附屬地の異狀なる發展に伴ひ新京輸入組合は本年度に於て中央通西公園前に一大ビルを建設し大いに面白を一新することゝなつたが國都商工界の元締商工會議所が舊態依然として記念公會堂に間借りをしてゐるので對外的にも面白くなく此の際適當な場所に新築してはといふ議が起り過般催された議員會に諮り滿場一致贊成を得たので石崎會頭は大連滿鐵本社に到り說明種々諒解を求めた結果滿鐵としても國都の現狀から見て此の問題はむしろおそきに失するものであり、いづれ重役會議に諮り土地其他具體的問題を決する筈であるが新京商工會議所新築問題は案外急速に決定するものと見られてゐる

國道局トラック 襲擊さる

廿九日午前八時半寬デンを出發した國道局トラック三臺は安東に向ふ途中車道嶺（毛デン子附近）に於て匪首華北軍春山寄合流匪約七十の襲擊を受け激戰約一時間半の後該匪を擊退したが、我方に左の死傷者を出した

△戰死
警備員　島田仲夫、小林仙五郎、白系露人警備員　四名

△重傷者
運轉手　菅松男　白系露人
警備員　三名

△輕傷者
工務員　岸濤、依田安村

川崎前商相の 葬儀執行

【東京國通】去る廿七日急逝した川崎前商相の葬儀は三十日午後零時半から青山齋場で盛大に執行された

畏き邊りではこの日午後零時半勅使牧野侍從　皇后宮御使小倉事務官　皇太后宮御使西邑事務官を御差遣、靈前に燒香せしめられた

關東局巡査異動 新京關係者

關東局では今回二十七日附で巡査の異動を發表したが新京署並びに領警關係の部は左の通りである（〇印は領警の分）

巡査部長　大石敏雄
巡　査　井上喜藏

新京警察署勤務を命す
池田茂、安齋友之松、富所東作、伊藤定市、梅谷義男、平一貞雄、横田保、三谷喜代治、小池金治、松田正道、久木野才助、東與太、川崎議四郎、縮崎□□、杉野秀八、太田幸六

旅順警察署勤務を命す
巡　査　〇村上清、松村定雄
〃　巡　査　古屋節郎、平井次郎、木本芳雄

大連警察署勤務を命す
〃　〃　巡　査　小幡勝義、高森尋治、樋田信男、出納久

〃　大連沙河口警察署勤務を命す
〃　池見又喜

金州警察署勤務を命す
巡　査　〇前田正明
〃　〃　中原宇一
〃　〃　〇梶原清秀

普蘭店警察署勤務を命す
巡　査　平田忠義
〃　〃　島本敏男
〃　〃　〇德田藤三郎
〃　〃　〇飯田尚良
〃　〃　渡邊清治

貔子窩警察署勤務を命す

滿洲事變の行賞
驛で勳章傳達式擧行

新京驛では今三十一日午後五時三十分から貴賓室において滿洲事變行賞敍勳者驛長稻川利一氏以下左記四十五名に對する勳章傳達式を擧行する、尙勳章は稻川氏が同日午後五時三十分着あじあで捧持してかへる豫定である、敍勳者氏名左の如し

瑞六　稻川利一
同七　上野譽一郎
同七　山口義人
同八　末吉國藏
　　　高橋茂雄

同八　三好實
同八　本野仁治
同八　掛札幸晴
旭八　中村仁
同八　石田武
同八　松本亮
瑞八　組岡一
同八　黑木忠盛
同八　川西善藏
同八　田名部信武
旭八　城野八郎
同八　伊藤滿男
瑞八　原田太郎
同八　平野伊津實
同八　岡崎得郎
同八　柏木安次
旭八　野田兵藏

瑞八　長瀨二郎
同八　佐野和作
同八　二ノ方紀
同八　渡邊貫一郎
同八　中島島一登
同八　兒西村光良
同八　上山駒雄
旭八　鮫島鐵男
同八　挽地松繁
同八　野田忠助
瑞八　原口太郎
同八　野崎晉
同八　神原利道
同八　高村謙三
同八　中田實行
旭八　西本竹誠
同八　宮部友男
同八　岡本長一
同八　山浦長治
瑞八　桑井勇吉
同八　中井長七
旭八　栗脇伊助

西尾參謀次長きのふ凱旋

國防婦人會員へ 坂井少佐の講演

國防婦人會總本部主任坂井少佐は三十日午後日滿軍人會館に於て在京國防婦人會員に對し國婦の精神並びに內地に於ける最近の活動狀況について講演をなした

錦州沖遭難機の 兩將校の屍體を發見

【錦州國通】昨年十二月二日飛行演習中海中に墜落行方不明となつたチチハル〇〇隊（當時錦州北大營駐屯）青木大尉、武內中尉の死體は遭難當時から關係機關懸命の努力にも拘らず遂に發見されなかつたが春暖の訪れと共に解氷期も近づいたので遭難機の流失を警戒中廿八日早朝蝦蟇子部落の漁民によつて遭難機附近より遭難者の死體を發見したので直ちにこの旨チチハル〇〇隊に通報し、同隊より田邊少佐の來錦を待つて死體並に機體の引上げに着手の豫定である

第二次移民團六十六名 牡丹江に向ふ

【圖們國通】引續き林密沿線依蘭縣下の開拓地に向ふ拓務省の第二次移民團一行六十六名は二十八日午後八時二十分着列車にて圖們に來り、同夜此處に一泊、二十九日正午圖們發列車にて牡丹江に向つた

事宛推薦して來たが多分採用されるものと見られてゐるが着任の曉は國都體育界に一大威力を加へるものと各方面から期待されてゐる

福祉委員會開催

新京地方事務所社會係主催福祉委員會は三十日午後一時から記念公會堂第四集會室に於て開催、本社から淸水氏、關東州方面委員橘科夫氏、新京地事社會係千葉、加藤兩係員小澤禎吉郎氏外新京福祉委員出席、橘氏大連に於ける方面委員の活躍狀態、淸水氏福祉委員助成會設立につき說明を加へ座談に入り各自大いに意見をたゝかはし午後六時頃閉會した

商業三教諭轉出

新學年度における中等學校教職員の異動に際し新京商業學校では戒田教諭（國漢科）新京第一高女へ、秋庭教諭（商業科）營口實習所長に、柴田教諭（商業科）遼陽商業へと何れも榮轉することゝなつた

塚本院長に 敍勳の光榮

滿鐵新京醫院々長塚本良禎氏は今回の論功行賞で勳五等瑞光章を賜つた

三將軍歡迎會 來る一日

去る廿八日新軍司令官植田大將の着任を見、昨卅日午後九時着列車では新參謀副長今村少將が着京したが新京に於ては右二將軍の歡迎と板垣新參謀長の昇進祝賀を兼ねて來る一日午後六時からヤマトホテルに於て官民合同の大歡迎會が催される、主催は中野總領事代理、韓市長、武田地方事務所所長共同主催で會費は五圓である

新体育主事に 齋辰雄氏？

滿鐵は社員はもとより全滿居住民の體育に最も重きを置き斯界の權威を網羅して、これが指導啓發に當つてゐるが新年度から新京地方事務所社會係に體育主事を增員し國都の體育方面に全力をつくすことゝなりこれが人選については本社に於いて愼重調査中であつたが、曾て世界オリムピックに十種競技で萬丈の氣を吐いた齋辰雄氏が最も適任者として其の旨三十日本社から地

南大將旅大訪問

【大連國通】前關東軍司令官南大將は三十日午前九時五十分東憲兵隊司令官以下各幕僚を隨へ旅順着、白玉山に參拜の上舊官邸に至り在旅文官の主なる人々と會見、一同記念撮影を行つた後十一時十分在旅各軍隊各學校長、諸團體市民多數の見送裡に歸連の途についたが大將は特に自動車より降り擧手の禮を以てこれに應へた

【大連國通】卅日正午旅順より歸連した南大將は晝食後大連神社、忠靈塔參拜後午後二時廿分奮野中佐、園田武官補佐官、名波少佐、三浦秘書官

濱田部隊掃匪

【ハルビン國通】濱田部隊の鶴立鎭派遣部隊は廿七日夕刻鶴立鎭東方四里の地點に蟠居中の黎排長以下八十の匪團を襲ひ之を擊退した

田邊警察部長を帶同して滿鐵を訪問、大村副總裁以下各理事、部長等の出迎へを受けて三階總裁應接室に於て松岡總裁以下各重役と會見、離滿の挨拶を述べ、シャンパンの乾杯後本社正面玄關に於て記念撮影を行ひ同二時三十五分辭去した

阜新電報局新設

電々會社では四月一日から錦州省阜新縣阜新東大門外南街に阜新電報局を設置することになつたが取扱電報種別は滿洲內和漢歐文及日滿和歐文並に國際電報である

軍艦春日旅順着

【旅順國通】軍艦春日は三十日午後六時旅順港外着、同八時半乘組員は半舷上陸を許され一同白玉山參拜後戰跡の見學を行つたが今夕六時大連に向ふ豫定である

赤塚校長大連へ

赤塚商業校長は腎臟炎靜養のため二十九日午前九時發大連に赴いた、約二週間加療の上歸京の豫定

中等選拔野球

桐中勝つ 對熊工戰

9A—7

【甲子園國通】全國選拔中等野球大會第二日桐生中學對熊本工業の一回戰は三十日午前十時七分から熊工の先攻で開始し結局九A對七で桐生中學勝つ、閉戰午後零時三十二分

小倉工勝つ 對早實戰

7A—5

【甲子園國通】選拔中等野球小倉工業對早稻田實業戰は午後一時四分から開始され七A對五で小倉工業が勝つた、閉戰二時五十七分

平安勝つ 對姬路中學戰

3A—1

【甲子園國通】選拔中學校野球戰姬路中學對平安中學の試合は三十日午後三時二十四分から開始、三A對一で平安中學勝つ、閉戰午後五時三十二分

布哇ブ軍 立教を破る

4—2

【東京國通】ハワイブレーブス野球團來朝第一戰對立教の試合は廿九日午後三時から神宮球場でブレーブス先攻で開始されたが結局四對二でブレーブスが勝つた閉戰四時四十分

出場規定

第二回オール滿洲麻雀選手權大會

日時　四月五日（日曜日）午後一時
場所　新京記念公會堂
申込期日　四月三日限り
申込場所　新京各麻雀クラブ
會費　金二圓五十錢（食事付）
賞級　一等より六十等迄尙級外者二十名
主催　新京麻雀同業組合
後援　新京日日新聞社

探偵小說　殺人技師（續上映）　森下雨村　夢場紫水畫

五八　五里霧中（三）

「さうだね、鞍原良治のありかはまだ判らないかね？」

今日もまた警視廳の奥まつた一室では、何度目かの捜索會議だ。既に事件のあつた日からは、一週間に近い日が經過してゐる。

それにまだ一人の容疑者もあげることが出來ないといふので、世間ではだん／＼と喧しく騒ぎ出した。何しろ被害者が女優で、事件が宵の口で、しかも自動車の中での殺人といふのだから、新聞がわい／＼と騒ぎ立てるのも無理ではなかつた。

平氣な顔はしてゐても、警視廳當局としては、世間の聲が痛かつた。もうぢつとしてゐられなくなつたのだらう、今日は警視總監まで列席の上で、嚴重な捜索會議である。

「それが、どうも、困つたことに目島座の座員も、誰一人知つてゐるものがありませんのでね」

總監の問ひに對して、汗をふき／＼答へたのは石丸警部である。

あの大失策を演じた黒澤刑事も、まるで針の座になほつたやうな格好で、末席に控へてゐる。

「東亞ホテルの方は充分取調べたかね？」

「えゝ、無論調べました、」

石丸警部がまた答た。

「ところが、あの晩、加害者に該當する青年がホテルへ入つて來たのは事實だといふのです。しかし、その男は、別に泊るつもりはなかつたらしく十分ぐらゐホテルのロビイにゐてそのまゝ外へ出ていつたといふのです。」

讀者諸君は、すでにお氣づきであらうが、石丸警部はこゝで大きな誤謬を演じてゐる。即ち、彼は築地から東亞ホテルへ自動車を乗りつけた人物と、東亞ホテルから三田の方面へ自動車を走らせて、途中から逃亡した人物とを、全く同一人物だとばかり思ひこんでゐる。

從つてホテルでの取調べにおいても、彼良が重大な手抜かりを演じてゐたことは想像するに難くない。警部にしろ誰にしろ、もし、そこで人間が入りかはつたことに氣がついてゐたら、もつと別な訊き方があつたに違ひない。そして、その結果はこのホテルに暫らく宿泊してゐた内海研太郎の存在を發見して、捜査の上に一轉化を見たかもしれなかつたのだが——。

しかし、當の自動車の運轉手さへ氣のつかなかつたその事實を、石丸警部が知らないといふのは、まことに無理からぬ話でもある。

「ふん、それで、その男はホテルのロビイで何をしてゐたのだね。誰かと話でもしてゐたのではないかね？」

「ところが、」警部はまたしても額の汗をふきながら、「何しろ時刻が時刻ですし、ホテルの中はとても立てこんでゐたやうで、誰一人その男の行動を憶えてゐる者がないのです。御承知のとほり、あすこには、ダンスホールがあるので、外部からいろんな人間が入込んで參りますのでね——。」

「ふうん。」

警視總監は鼻を鳴らせながら、暫らく考へこんでゐたが、ふと思ひ出したやうに、

「時に例の寫眞はどうしたね。それ音羽アパートから押收して來た顔のない寫眞さ。あれについて何か手がゝりはないかね？」

「手がゝりはありました。ありましたが、それがまことに奇怪な次第で——。」

「何に？　奇怪な次第とは？」

「その話ならおい、黒澤君、君から詳細お話したらいゝだらう」

警部は末席に控へてゐた黒澤刑事をぢろりと顧返つた。